

① 南伊勢森林計画区の地域管理経営計画等について（三重森林管理署）

国有林野の基本データについて

- ◆ 森林計画区の区域は、松阪市をはじめとする4市7町となっています。
- ◆ 国有林野は7,283haであり、計画区総土地面積の3%、森林面積の4%を占めています。
- ◆ 三重県中央部の奈良県との県境付近に比較的大きな団地があるほか、松阪市に小面積の団地が点在しています。

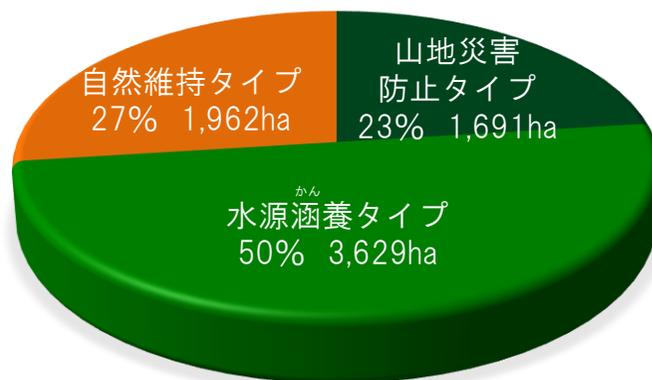


森林計画区内における森林面積の割合



機能類型別森林面積

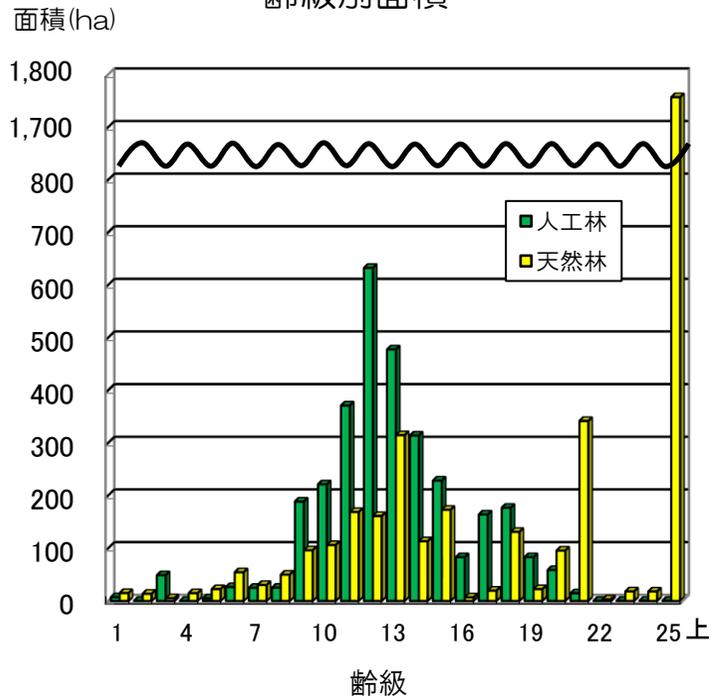
国有林野面積：7,283ha



国有林野の特徴

- ◆ 人工林面積が3,151haと国有林野面積の約5割を占め、恵まれた人工林資源を有しています。
- ◆ 「吉野熊野国立公園」や「大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパーク」が指定されており、ハイキングなど保健休養の場として多くの人々に利用されています。
- ◆ 歴史的木造建造物の維持・修繕のために必要な修復資材の供給などに取り組んでいます。

齢級別面積



※ 齢級とは、5年をひとくくりとしたもので、林齢が1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、・・・と続きます。

【大台ヶ原周辺の風景】



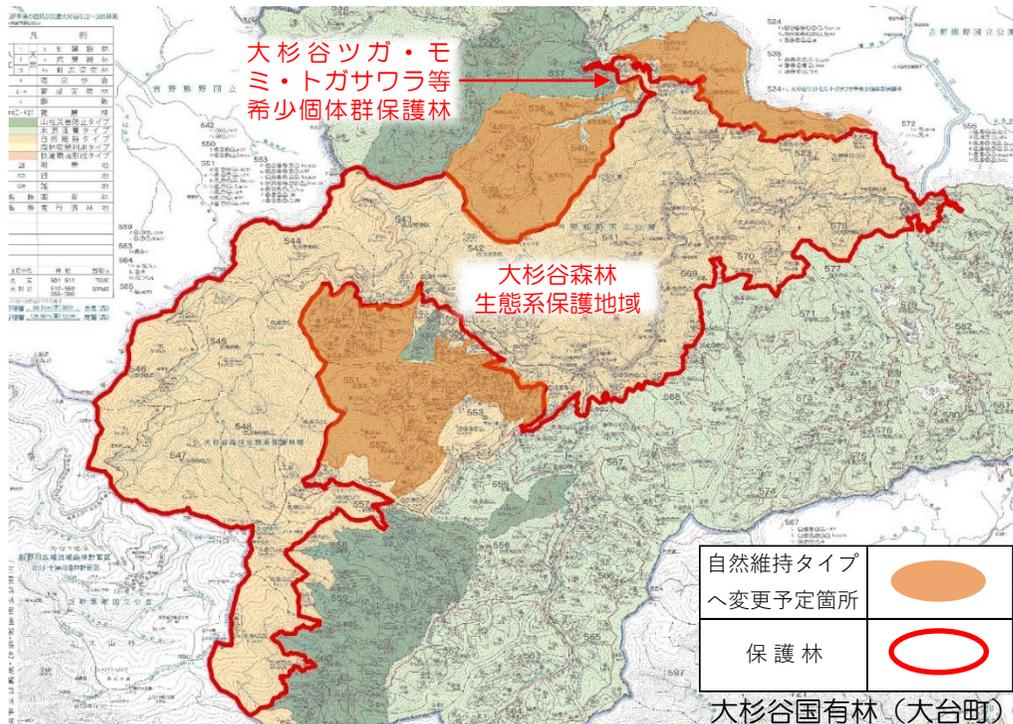
大杉谷国有林（大台町）

計画のポイント① 「地域を代表する自然環境を形成する国有林野等の機能類型の変更」

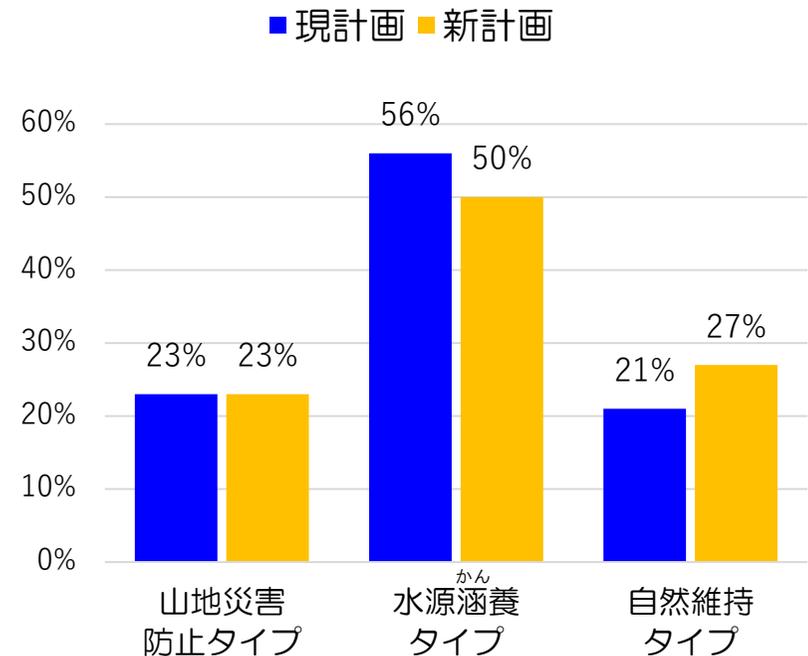
- ◆ 保護林等に隣接する、自然度の高い植生を有する国有林について、機能類型を「水源涵養^{かん}タイプ」から「自然維持タイプ」に変更し、大杉谷ツガ・モミ・トガサワラ等希少個体群保護林や大杉谷森林生態系保護地域と一体的に保全・管理します。

機能類型	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	変更前の機能類型
自然維持タイプ	1,962.47	1,520.88	+441.59	水源涵養 ^{かん} タイプ

【自然維持タイプへ変更する国有林】



【現計画と新計画の機能類型別面積割合】



計画のポイント②「特に保護を図るべき森林に関する事項」

- ◆ 本計画区では、我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を保護・管理する「森林生態系保護地域」を1箇所、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護・管理する「希少個体群保護林」を1箇所設定し、モニタリングや巡視を通じて厳格に保護・管理しています。

大杉谷森林生態系保護地域の風景

【七ツ釜滝】



【巨木が点在する原生的な林内】

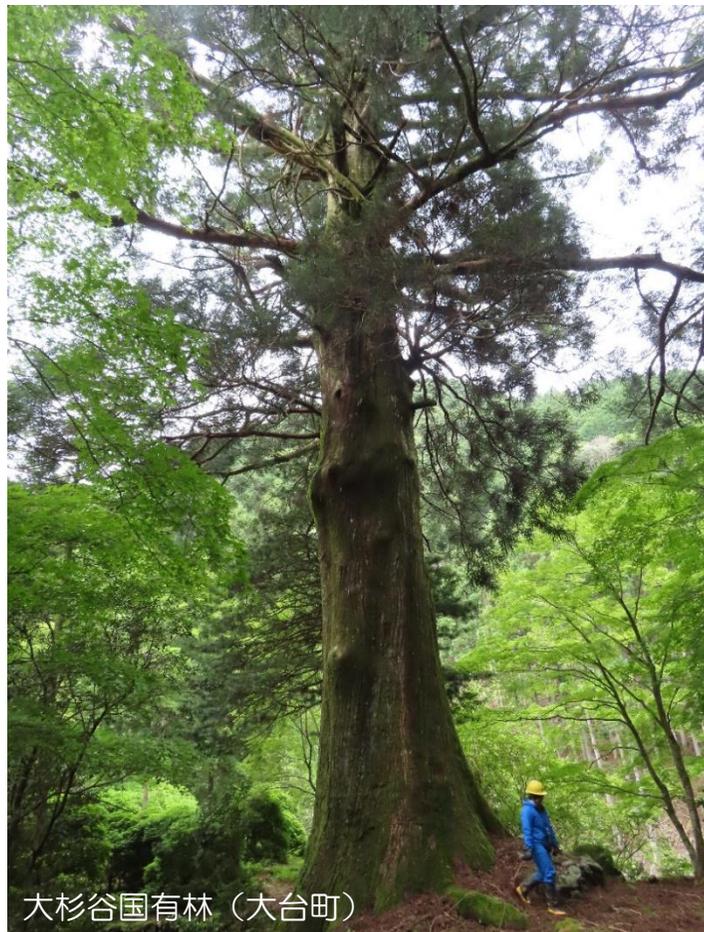
【平等^{くら}嶋吊橋】

大杉谷国有林（大台町）

名称	面積 (ha)	特徴	国有林名 (市町村)
大杉谷森林生態系保護地域	1,390.75	温暖帯性常緑広葉樹林、冷温帯性落葉広葉樹林、亜高山帯性の針葉樹林などの原生的な天然林の保護	大杉谷 (大台町)
大杉谷ツガ・モミ・トガサワラ等 希少個体群保護林	7.10	大杉谷におけるツガ、モミ、トガサワラ、アカガシの保護	大杉谷 (大台町)

計画のポイント③ 「巨樹・巨木の保護」

- ◆ 次世代への財産として健全な形で残していくべき巨樹・巨木について、国民による自主的な保全活動の推進を含め、表示板の設置、周辺森林環境の整備等の保護活動に努めます。
- ◆ 本計画区には、国有林の代表的な巨樹・巨木として「森の巨人たち100選」（全国の国有林を対象に林野庁が選定）に選定された一本杉（大杉谷）があり、地元市町村等との連携の下、適切な保護管理に努めます。



せんびろ 「千尋一本杉」		
樹種		スギ
推定年齢		400年以上
樹高		45 m
幹周		8.13 m

近景

説明看板



計画のポイント④「ニホンジカの被害対策」

- ◆ 本計画区はニホンジカの生息密度が高く、シカによる植栽木や下層植生の食害が発生していることから、防護柵設置等の被害対策やくくり罠捕獲等を行うとともに、関係機関・地元団体等と連携して被害対策に取り組みます。
- ◆ 特に、大台ヶ原・大杉谷国有林では、シカの増加に伴い森林生態系への被害が深刻化しているため、環境省・奈良県上北山村・三重森林管理署が締結している協定に基づき、シカ個体数調整等の総合的な対策に取り組みます。

大杉谷国有林（大台町）におけるニホンジカの被害対策の取り組み

【防護柵設置】



【くくり罠で捕獲したニホンジカ】



【ニホンジカ被害対策の現地検討会】



捕獲した鹿を埋設する方法の説明

計画のポイント⑤ 「木の文化を支える森づくり」

- ◆ 国宝等の歴史的木造建造物の修復資材は、特定の樹種の大径材、高齡級ヒノキの檜皮など、民有林からの供給が期待しづらいため、国有林野に育成・備蓄する場を設定しています。
- ◆ 「文化財継承林」は、将来の修復用材を確保する目的で、ケヤキ、クスノキ、クリの^{ひわだ}大径木を育成できる見込みの箇所を設定しています。

文化財継承林

樹種	ケヤキ
林齢	33～88年生
面積	4.76 ha
(国有林) (市町村)	深山国有林 (松阪市)



新計画における主要事業量

区 分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主 伐	—	(27ha) 8,917m ³	林道開設工事延期に伴い、計画量が減少しています。
	間 伐	(515ha) 61,701m ³	(447ha) 49,568m ³	間伐対象林分の増加に伴い、計画量が増加しています。
更新総量	人工造林	14.46ha	29.84ha	主伐量の減少に伴い、計画面積が減少しています。
	天然更新	46.96ha	88.94ha	天然更新完了箇所の減少に伴い、計画面積が減少しています。
保育総量	下 刈	43.38ha	89.52ha	造林面積の減少に伴い、計画面積が減少しています。
	除 伐	29.47ha	26.32ha	対象箇所の増加に伴い、計画面積が増加しています。
林道事業	開 設	—	1,000m	林道開設工事延期に伴い、計画量が減少しています。
	改 良	980m	2,750m	豪雨等により被害があった修繕箇所の減少に伴い、計画量が減少しています。
治山事業	保全施設	8箇所	11箇所	荒廃地復旧箇所の減少に伴い、計画量が減少しています。
	保安林の整備	—	22.60ha	整備対象森林の減少に伴い、計画面積が減少しています。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加

青字：現計画より計画量が減少

間伐計画箇所



深山国有林（松阪市）

山腹工施工計画箇所



大名倉国有林（松阪市）

② 太田川森林計画区の地域管理経営計画等について（広島森林管理署）

国有林野の基本データについて

- ◆ 森林計画区の区域は、広島市をはじめとする3市6町となっています。
- ◆ 国有林野は13,983haであり、計画区総土地面積の6%、森林面積の7%を占めています。
- ◆ 広島県西部の廿日市市に比較的大きな団地があるほか、広島市を中心に各所に点在しています。

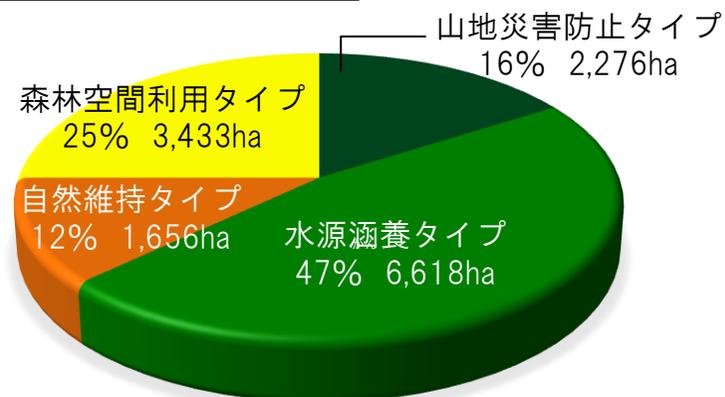


森林計画区内における森林面積の割合



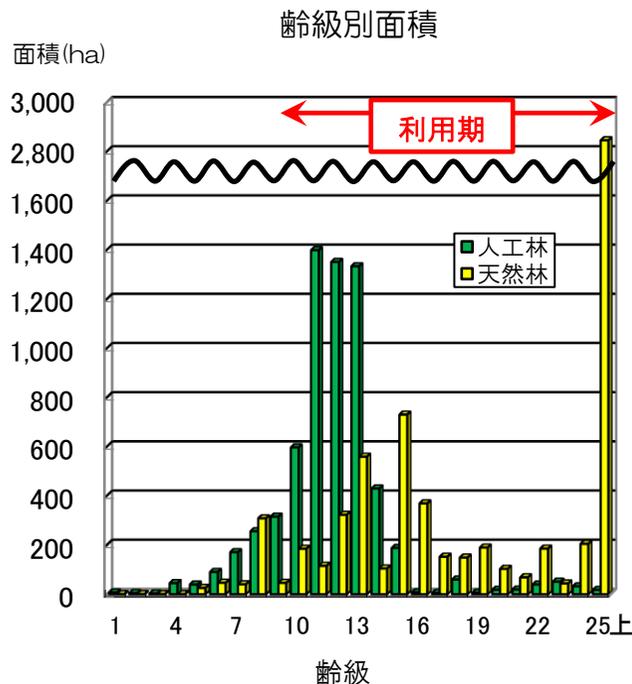
機能類型別森林面積

国有林野面積：13,983ha



国有林野の特徴

- ◆ 人工林面積が6,484haと国有林野面積の約5割を占め、人工林の森林蓄積のうち約9割が利用期を迎えており、恵まれた人工林資源を有しています。
- ◆ 世界文化遺産（厳島神社）や「瀬戸内海国立公園」等が指定されており、ハイキングなど森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されるとともに、歴史的木造建造物の維持・修繕のために必要な檜皮ひわだの供給も行なっています。



※ 年齢級とは、5年をひとくくりとしたもので、林齢が1～5年生を1年齢級、6～10年生を2年齢級、・・・と続きます。

【世界文化遺産（厳島神社）と宮島国有林】



計画のポイント① 「民有林と連携した施業の推進」

- ◆ 地域における施業集約化の取組を支援するため、民有林と連携することで事業の効率化や森林経営管理制度の導入に資する区域については、森林整備推進協定を締結するとともに森林共同施業団地を設定しています。
- ◆ 本計画区では3つの協定を締結し、民有林と連結した路網の整備と相互利用の推進、民有林と協調を図りつつ計画的な間伐等や現地検討会等を通じた民有林への森林・林業技術の普及に取り組んでいます。

森林共同施業団地一覧

名称（所在市町）	対象地		
西牛尾山・中尾山地域 森林共同施業団地 （広島市）	民有林	256ha	—
	国有林	213ha	中尾山国有林
平見谷・鶉木山地域 森林共同施業団地 （安芸太田町・北広島町）	民有林	659ha	—
	国有林	488ha	鶉木山国有林
天徳地域 森林共同施業団地 （廿日市市）	民有林	407ha	—
	国有林	617ha	黒打山国有林 天徳国有林

【合同運営会議の様子】



広島森林管理署（広島市）

計画のポイント②「山地災害への対応」

- ◆ 治山事業は、民有林治山事業と連携し、自然環境の保全への配慮や木材利用、コスト縮減等に努めながら、荒廃地の整備、災害復旧、保安林の整備等を計画的に実施しています。
- ◆ 本計画区では、豪雨等により被災した山地において、山腹斜面の安定化を図る山腹工、荒廃溪流への溪間工などを設置し、地域の安全安心の確保に努めます。

【豪雨により被災した山腹斜面の溪間工】



犬戻鳴山国有林（広島市）

【道路沿いの山腹斜面に施工した山腹工】



宇品山国有林（広島市）

計画のポイント③「公衆の保健のための活用の推進」

- ◆ 国民の保健・文化・教育的利用に積極的に供することが適当と認められる国有林野を「レクリエーションの森」として、広く国民に開かれた利用に供します。
- ◆ 本計画区には、日本美しい森お薦め国有林に設定された宮島風景林と恐羅漢細見峡自然休養林があり、レクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されています。

種 類	名 称	国 有 林 (市 町 村)	面 積 (ha)	既 存 施 設
自然観察教育林	宇品山自然観察教育林	宇品山（広島市）	21.73	広場、展望所等
風 景 林	宮島風景林 (日本美しい森お薦め国有林)	宮 島（廿日市市）	1,322.73	遊歩道、トイレ等
	奥三段峡風景林	中ノ甲（安芸太田町）	29.20	—
自然休養林	恐羅漢細見峡自然休養林 (日本美しい森お薦め国有林)	細見谷、十方山、下山（廿日市市） 横 川（安芸太田町）	1,373.15	スキー場、休憩所、野営場等

宮島風景林

展望所「しいいわ」
から瀬戸内海の眺望

「しいいわ」までは、
ハイキング道やロープ
ウェイ等を利用した散
策も可能。



宮島国有林（廿日市市）

恐羅漢細見峡 自然休養林

スキー場の利用風景

新緑や紅葉、渓谷美を
楽しみながら森林散策
など、四季を問わず幅
広く利用されている。



横川国有林（安芸太田町）

計画のポイント④国民の参加の森林づくり

- ◆ 国民参加の森林づくりを推進するため、NPO等が行う自主的な森林整備等へのフィールドの提供や必要な技術指導を行うなど、国有林野の積極的な利用を推進します。

種類	名称	国有林 (市町村)	面積 (ha)
ふれあいの森	久地千年の森	大下(広島市)	16.93
法人の森林(分収造林)	-	大谷山(広島市)	1.39
多様な活動の森	アース・ミュージアム元宇品	宇品山(広島市)	19.90

「アース・ミュージアム元宇品」の活動風景

【カシナガシート設置の様子】



【元宇品クリーンキャンペーン】



新計画における主要事業量

区 分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主 伐	(214ha) 54,670m ³	(84ha) 30,722m ³	主伐を行う分収林の増加に伴い、計画量が増加しています。
	間 伐	(2,191ha) 290,126m ³	(1,629ha) 198,723m ³	間伐対象林分の増加に伴い、計画量が増加しています。
更新総量	人工造林	229.49ha	105.24ha	主伐量の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	天然更新	—	—	—
保育総量	下 刈	552.17ha	324.64ha	造林面積の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	除 伐	4.43ha	47.51ha	対象箇所への減少に伴い、計画面積が減少しています。
林道事業	開 設	1,700m	4,500m	間伐等の森林整備の計画箇所を勘案し、計画量が減少しています。
	改 良	960m	20m	豪雨等により被害があった修繕箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
治山事業	保全施設	11箇所	20箇所	荒廃地復旧箇所の減少に伴い、計画量が減少しています。
	保安林の整備	2.49ha	—	整備対象森林の増加に伴い、計画面積が増加しています。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加

青字：現計画より計画量が減少

主伐計画箇所



篠ヶ原山国有林（廿日市市）

間伐計画箇所



中尾山国有林（広島市）

③ 揖保川森林計画区の地域管理経営計画等について（兵庫森林管理署）

国有林野の基本データについて

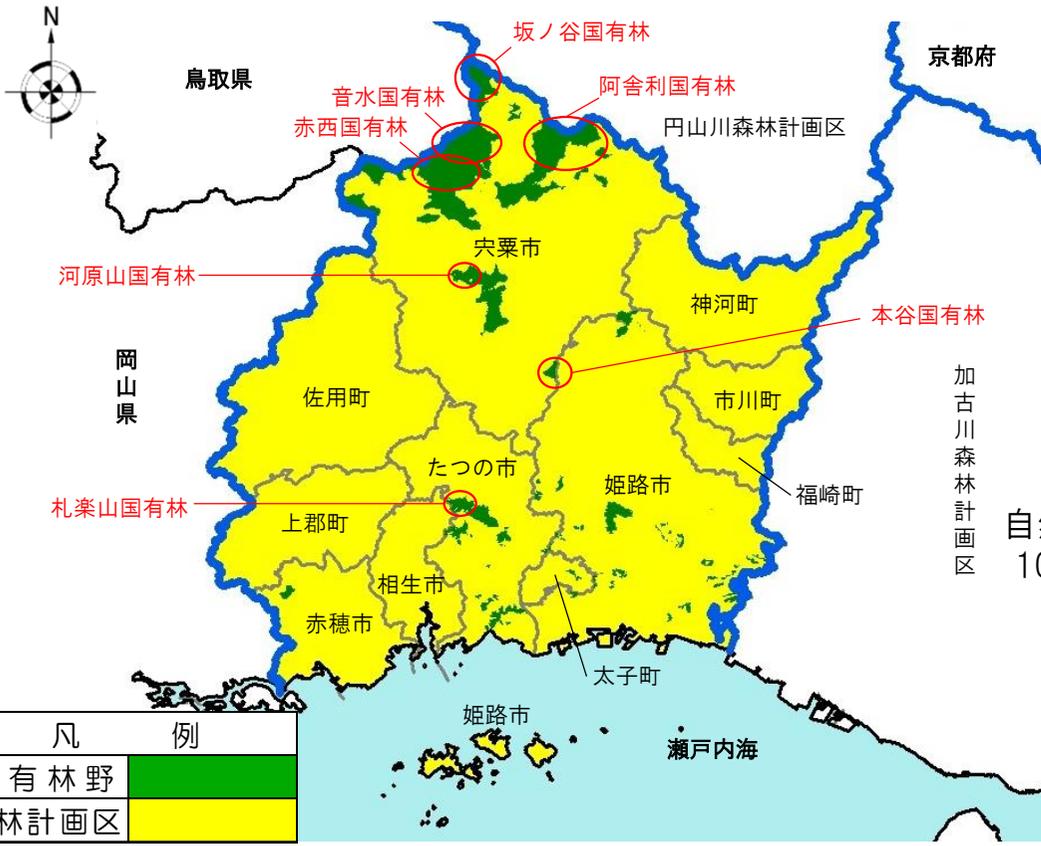
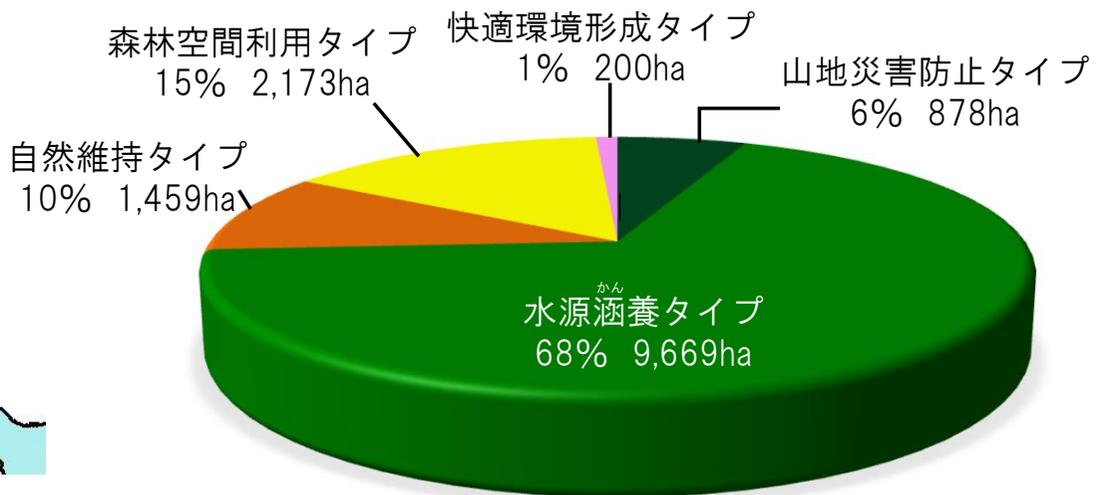
- ◆ 森林計画区の区域は、兵庫県西部の5市6町となっています。
- ◆ 国有林野は14,679haであり、計画区総土地面積の6%、森林面積の8%を占めています。
- ◆ 兵庫県西部の中国山地脊梁部を中心に比較的大きな団地が所在し、瀬戸内海沿岸部に小さな団地が散在しています。

森林計画区内における森林面積の割合



機能類型別森林面積

国有林野面積 : 14,679ha



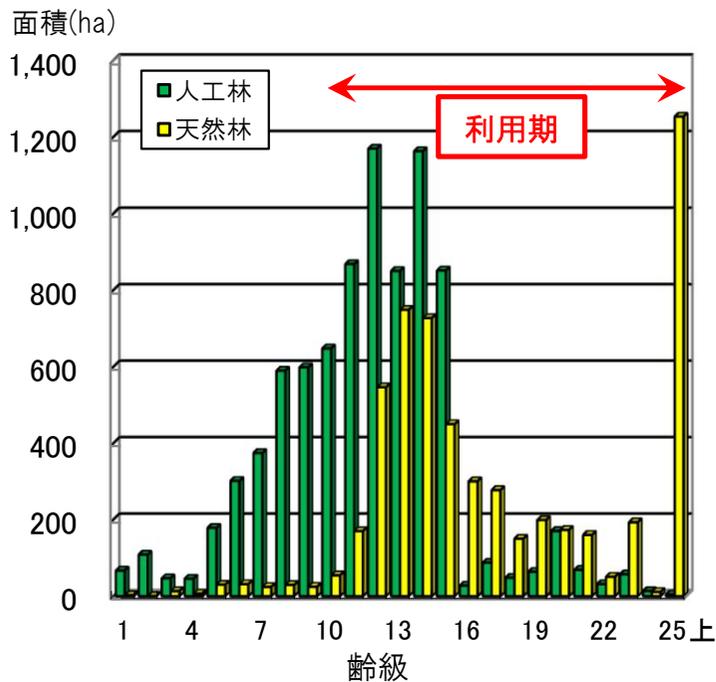
国有林野の特徴

- ◆ 人工林面積が8,434haと国有林野面積の約6割を占め、人工林の森林蓄積のうち約8割が利用期を迎えており、恵まれた人工林資源を有しています。
- ◆ 計画区北部に所在する保護林と、円山川、千代川森林計画区に跨る「東中国山地緑の回廊」を設定しています。
- ◆ 水源の森100選「音水溪谷」や、日本の滝100選「原不動滝」をはじめ、豊かな森林景観及び豊富な観光資源に恵まれており、登山やハイキングなどのレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されています。

齢級別面積 (R5.3.31時点)

【音水スギ・ヒノキ・トチノキ等遺伝資源希少個体群保護林】

【音水溪谷明神滝】



当該保護林の主な構成樹種である宍粟天然スギは、樹齢250年生を超え、直径70cm、樹高は30mもあり、混在するヒノキやトチノキとともに神秘的で雄大な景観を有しています。



音水溪谷は、水源の森百選やひょうごの森百選にも選ばれ、周辺には波賀森林鉄道などの遺構が残されており、県下有数の景勝地となっています。

※ 齢級とは、5年をひとくくりとしたもので、林齢が1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、・・・と続きます。

計画のポイント① 「特に保護を図るべき森林」

- ◆ 原生的な天然林、地域固有の生物群集を有する森林、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護林として設定し、モニタリングや巡視等を行いながら厳格に保護・管理しています。
- ◆ 新計画では希少個体群保護林を1箇所新設し、計5箇所の保護林を設定しています。

【赤西スギ・トチノキ・シオジ等希少個体群保護林（新設）】



直径190cmの天然スギ

赤西国有林（宍粟市）



赤西国有林（宍粟市）



県下最大級のシオジ

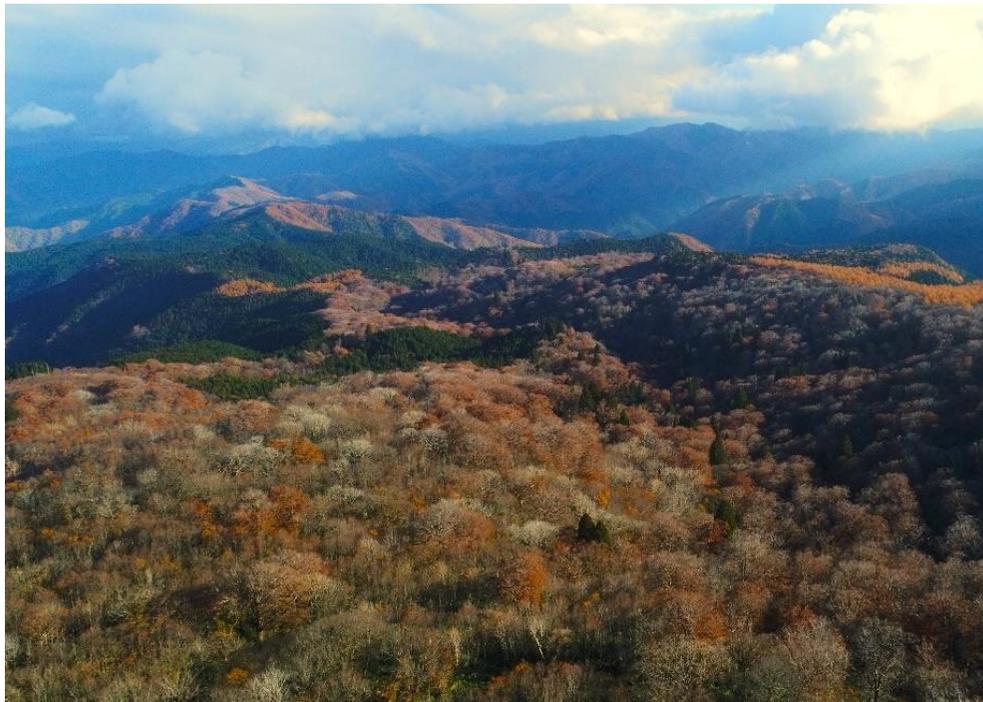
赤西国有林（宍粟市）

名称	面積 (ha)	特徴	国有林名 (市町村)
氷ノ山・三の丸生物群集保護林	159.37	日本海側における西限付近のブナ・オハククロモジ群落の天然林の保護	坂ノ谷 (宍粟市)
音水スギ・ヒノキ・トチノキ 遺伝資源希少個体群保護林	48.48	中国地方におけるスギ、ヒノキ、トチノキ等の林木遺伝資源の保存	音水 (宍粟市)
音水溪谷イヌブナ・ミズナラ 希少個体群保護林	209.35	中国地方における暖帯林と温帯林をつなぐ地帯にみられるイヌブナ林の保護	音水 (宍粟市)
赤西スギ・トチノキ・シオジ等 希少個体群保護林（新設）	13.69	宍粟地方を代表する高齢級スギ天然林と混交する溪畔樹種等の保護	赤西 (宍粟市)
音水モミ・ブナ・ミズナラ等 遺伝資源希少個体群保護林	9.70	モミ、ブナ、ミズナラ、トチノキ、クリ等の林木遺伝資源の保存	音水 (宍粟市)

計画のポイント① 「特に保護を図るべき森林」

- ◆ 個々の保護林等を連結する「緑の回廊」を設定して、野生生物の生育・生息地の確保と相互交流を可能とし、より効果的に森林生態系の保護・保全を図ります。
- ◆ 円山川、千代川森林計画区の保護林と音水、赤西、坂ノ谷国有林の保護林を連結する「東中国山地緑の回廊」を1,510ha設定しています。

【東中国山地緑の回廊】



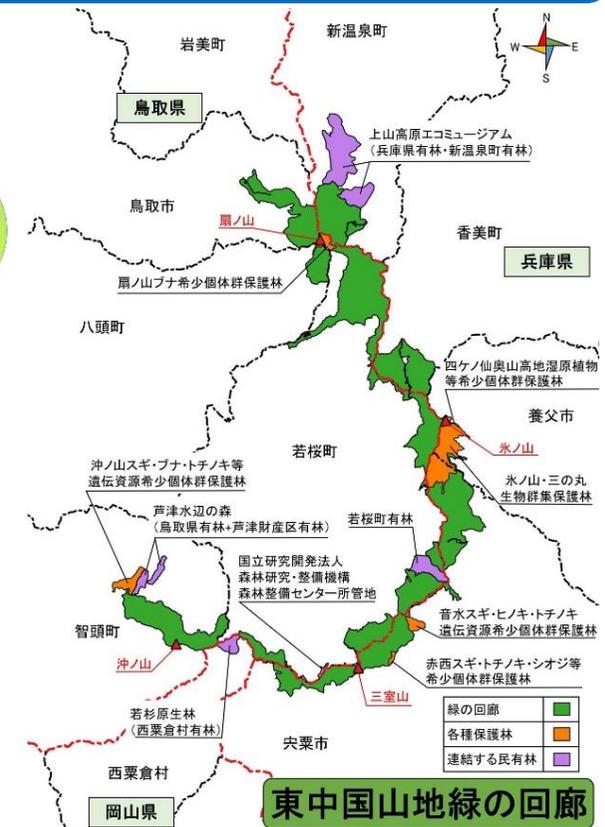
坂ノ谷国有林（宍粟市）



【緑の回廊の林内状況】



坂ノ谷国有林（宍粟市）



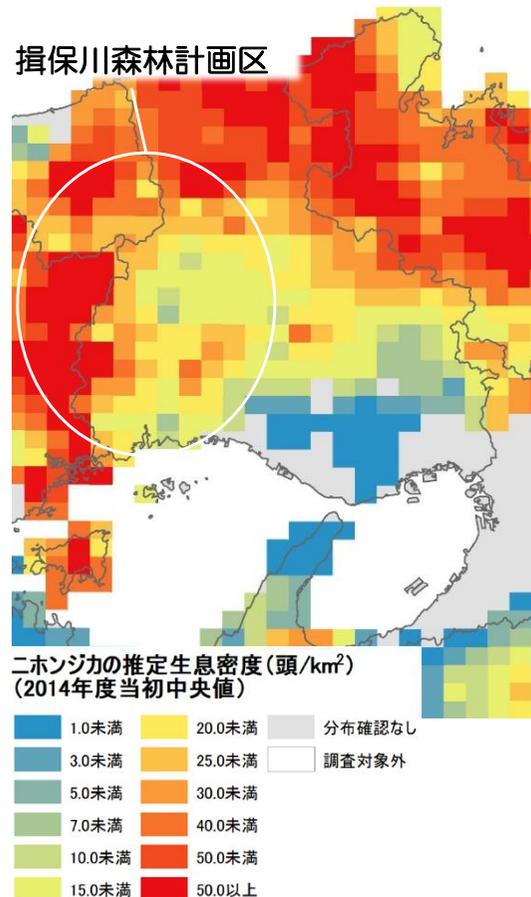
東中国山地緑の回廊

名称	国有林面積 (ha)	民有林面積 (ha)	特徴	主な山岳
東中国山地緑の回廊	全体面積 6,186 うち本計画区 1,510	873	兵庫、鳥取、岡山の3県にまたがって設定。 西限付近のブナ林やスギ天然林が存在。 他の回廊に比べ人工林が多く、区域内に民有林を含む。 イヌワシやツキノワグマの地域個体群が存在。	三室山、 氷ノ山、 沖ノ山、 扇ノ山

計画のポイント② 「ニホンジカの被害対策」

- ◆ 本計画区はニホンジカの生息密度が高いことから、国有林のうち9割を「鳥獣害防止森林区域」に設定しており、防護柵や幼齢木保護管の設置等の被害対策を行っています。
- ◆ 地域と一体となった捕獲技術等の普及を図るため、民有林関係者を対象とした現地検討会の開催等に取り組みます。

ニホンジカの推定生息密度図



【シカ捕獲技術現地検討会】



札幌山国有林(たつの市)

【罠いわなで捕獲したシカ】



本谷国有林(宍粟市)

兵庫森林管理署における捕獲実績(全県データ)

年 度	捕獲頭数
平成30年度	36頭
令和元年度	86頭
令和2年度	80頭
令和3年度	42頭
令和4年度	157頭
令和5年度	111頭

※令和5年度は12月末現在の実績です。

【小林式くくりわなで捕獲したシカ】



札幌山国有林(たつの市)

環境省報道発表資料より(H27.10.9環境省HP公表)

※小林式くくりわな：シカが餌を食べる際に、口元へ前足を置く習性を利用し開発した捕獲方法。

計画のポイント③ 「木材の供給」及び「木材の販売」

- ◆ 恵まれた人工林資源を有効活用するため、適正な森林整備を通じ木材の安定供給に取り組みます。
- ◆ 木材の供給に当たっては、列状間伐、路網、高性能林業機械を組み合わせた効率的な森林整備を進めるとともに、自然条件・社会的条件を考慮して主伐を実施します。
- ◆ 木材の販売に当たっては、協定を締結した需要者に直接販売する「国有林材の安定供給システム販売」を推進することで、地域における計画的かつ安定的な木材供給体制の構築に努めます。

【ハーベスタによる伐採・造材作業】

根元から切り倒した後、枝葉を取り除き、丸太に加工します。



阿舎利国有林（宍粟市）

【フォワーダによる運材作業】

森林作業道を利用して、丸太をトラック積込場所まで運搬します。



札楽山国有林（たつの市）

【トラック運搬】

積込場所に集積された丸太を木材市場まで、システム販売では購入者自らが運搬します。



札楽山国有林（たつの市）

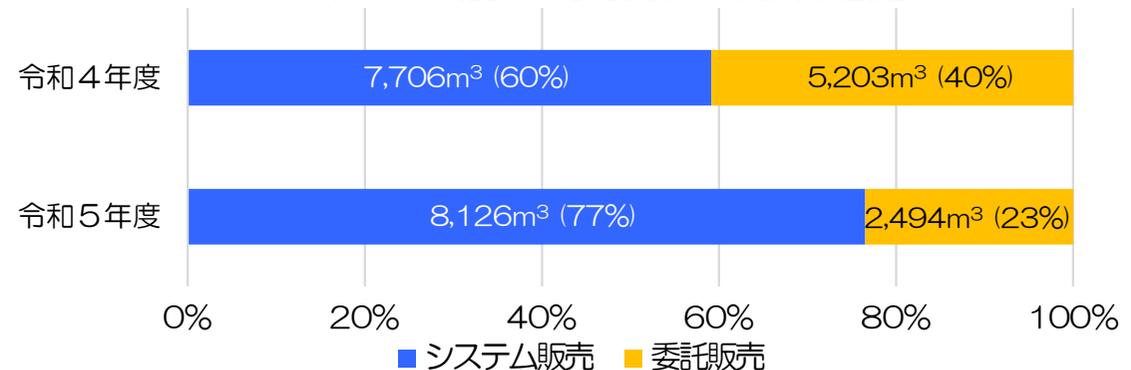
【木材市場での委託販売】

運ばれた丸太を、樹種、長級、径級、品質、直材・曲がり材等ごとに仕分けし、セリ等により販売します。



山崎木材市場（宍粟市）

システム（製品）、委託別 販売材積割合



計画のポイント④ 「公衆の保健のための活用」

- ◆ 本計画区では8つのレクリエーションの森を設定しています。
- ◆ 赤西自然観察教育林は、景観美に優れているほか、観光資源としての潜在的魅力があり「日本美しの森お薦め国有林」に選定されています。紅葉時期には、澄んだ空気の中、落葉が川面を赤く染めるなど、赤西溪谷の澄んだ溪流と赤や黄に色づいた樹齢150年を超える天然広葉樹が作り出す様々な表情を楽しむことができます。

【赤西自然観察教育林】



赤西国有林（宍粟市）



大河ドラマ「軍師官兵衛」のタイトルバックが撮影されたことでも知られる赤西溪谷

【坂ノ谷風景林】



坂ノ谷国有林（宍粟市）

名 称	面 積	市町村
坂ノ谷自然観察教育林	249.38	宍粟市
赤西自然観察教育林	31.56	宍粟市
鶏籠山自然観察教育林	106.24	たつの市
札楽山森林スポーツ林	226.76	たつの市

名 称	面 積	市町村
滝谷・大成山野外スポーツ地域	598.67	たつの市
坂ノ谷風景林	35.13	宍粟市
不動滝風致探勝林	54.44	宍粟市
台山園地	6.68	たつの市

新計画における主要事業量

区分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主伐	(36ha) 18,375m ³	(90ha) 38,646m ³	シカ被害地の増大による主伐指定の抑制。
	間伐	(2,357ha) 310,049m ³	(2,361ha) 282,538m ³	材積の大きい林分の間伐指定に伴い計画面積の減少、計画材積が増加しています。
更新総量	人工造林	187.03ha	232.28ha	主伐量の減少に伴い、計画面積が減少しています。
	天然更新	—	—	—
保育総量	下刈	765.66ha	819.06ha	造林面積の減少に伴い、計画面積が減少しています。
	除伐	163.70ha	161.38ha	対象箇所の増加に伴い、計画面積が増加しています。
林道事業	開設	1,651m	3,001m	間伐等の森林整備の計画箇所を勘案し、計画量が減少しています。
	改良	610m	807m	豪雨等により修繕箇所は増加しましたが、修繕延長は減少しています。
治山事業	保全施設	12箇所	7箇所	荒廃地復旧箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
	保安林の整備	8.98ha	2.77ha	整備対象森林の増加に伴い、計画面積が増加しています。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加

青字：現計画より計画量が減少

主伐計画箇所



阿舎利国有林（宍粟市）

間伐計画箇所



河原山国有林（宍粟市）

④ 天神川森林計画区の地域管理経営計画等について（鳥取森林管理署）

国有林野の基本データについて

- ◆ 森林計画区の区域は、鳥取県中部の1市4町となっています。
- ◆ 国有林野は8,923haであり、計画区総土地面積の11%、森林面積の17%を占めています。
- ◆ 岡山県境の中国山地沿いを中心に大きな団地が所在しています。

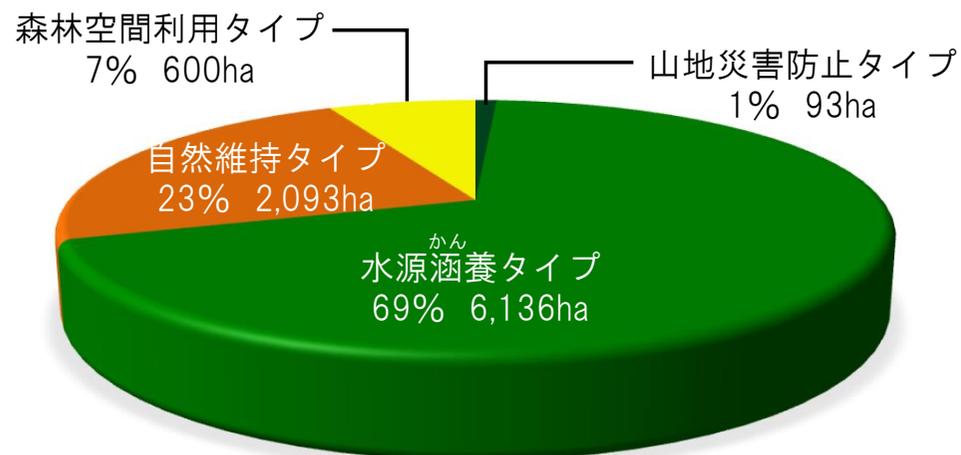


森林計画区内における森林面積の割合



機能類型別森林面積

国有林野面積：8,923ha

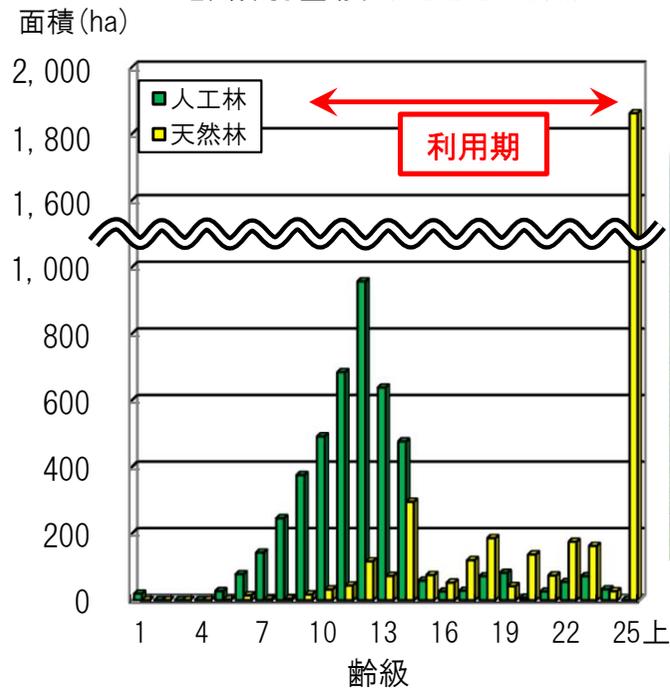


※計の不一致は四捨五入による。

国有林野の特徴

- ◆ 人工林面積が7,945haと国有林野面積の6割以上を占め、人工林の森林蓄積のうち約9割が利用期を迎えており、恵まれた人工林資源を有しています。
- ◆ 「大山隠岐国立公園」に指定されている国有林の一部は、「大山森林生態系保護地域」に設定しており、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存など、森林の保全管理を図っています。
- ◆ 船上山行宮跡、三徳山などの史跡・名勝や、大山滝をはじめとする自然美に恵まれており、登山や自然観察など森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されています。

齢級別面積 (R5.3.31時点)



※ 齢級とは、5年をひとくくりとしたもので、林齢が1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、・・・と続きます。

【船上山の屏風岩】



溶岩の冷え固まった断崖絶壁が数kmにわたって続いており、断崖の地形は天然の要塞となり、南北朝時代の古戦場としても知られています。

船上山国有林 (琴浦町)

【日本の滝100選「大山滝」】



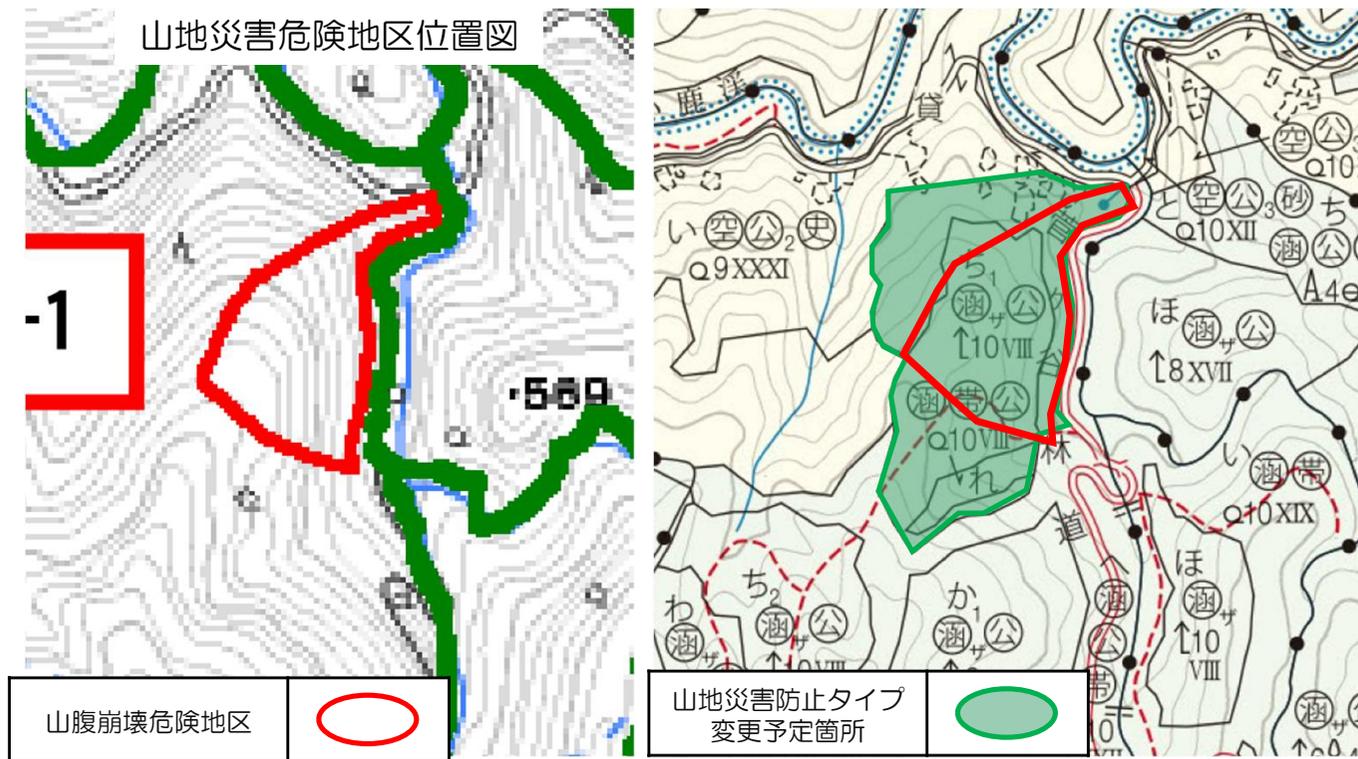
「日本の滝百選」に登録された大山滝は、落差42m、水量も豊富な鳥取県内最大の名滝です。昭和初期までは三段滝でありましたが、大洪水により二段滝になった歴史があります。

本谷奥国有林 (琴浦町)

計画のポイント① 「災害に強い国土基盤の形成に向けた機能類型の変更」

- ◆ 気候変動による豪雨の増加等に伴い、山地災害が激甚化・多様化していることを踏まえ、事前防災・減災の考え方に立ち、計画区内の山地災害危険地区(山腹崩壊危険地区) 1箇所(8.28ha)の機能類型を見直し、「山地災害防止タイプ」へ変更します。

【山地災害防止タイプへ変更する国有林】



下層植生が少なく、一部表土の流出がみられることから、間伐等により光環境を改善・維持し、下層木・植生が発達した針広混交林へ誘導することにより「災害に強い森林」へ誘導します。



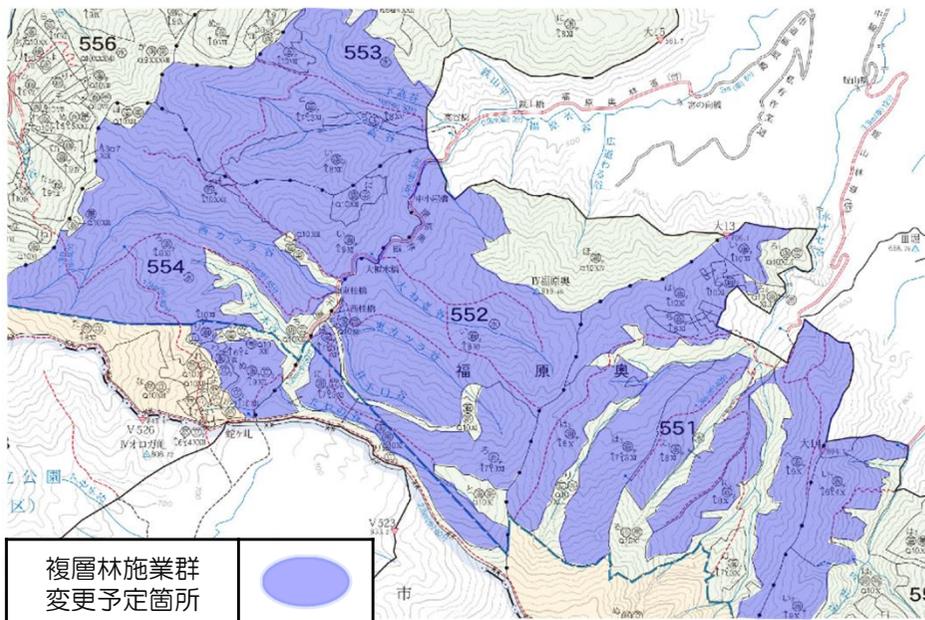
中津国有林(三朝町)

機能類型	新計画(ha)	現計画(ha)	現計画比(ha)	国有林(市町村)	変更前の機能類型
山地災害防止タイプ	93.12	84.84	+8.28	中津(三朝町)	水源涵養 ^{かん} タイプ

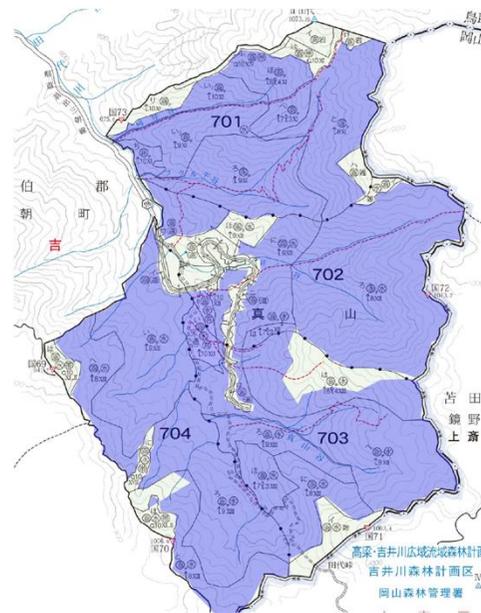
計画のポイント② 「森林の有する多面的機能の発揮に向けた施業群の変更」

- ◆ 森林・林業基本計画において、急傾斜地や林地生産力の低い森林のうち、公益的機能と木材等生産機能の発揮を同時に期待する森林については、帯状等の伐採と植栽により育成複層林へと誘導することとされています。
- ◆ 本計画区では、水源涵養^{かん}タイプの人工林のうち2,032.25haを、育成複層林へ誘導する施業を行う「複層林施業群」及び「複層林施業群（面的）」へ変更します。

【育成複層林へ誘導する国有林】

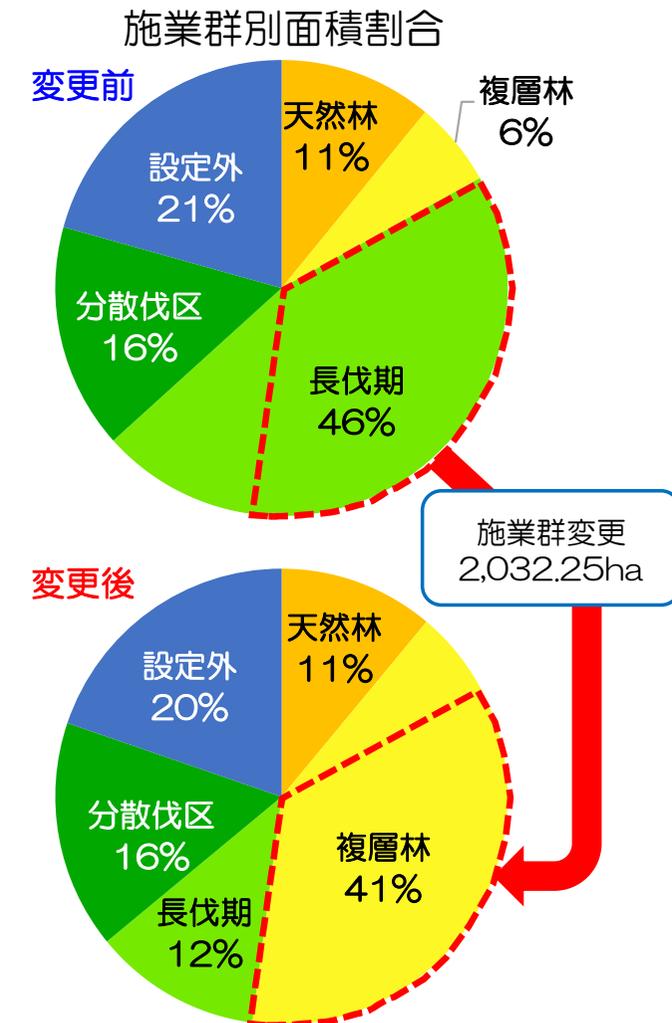


福原奥国有林（倉吉市）



真山国有林（三朝町）

施業群	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	変更前の施業群
複層林施業群	2,061.31	357.47	+1,703.84	長伐期施業群
複層林施業群(面的)	328.41	0.00	+328.41	長伐期施業群



※複層林は複層林施業群及び複層林施業群(面的)

計画のポイント③ 「森林病虫害の駆除又はそのまん延の防止」

- ◆ 鳥取県中西部大山山系ではカシノナガキクイムシによる被害が、日本海沿岸部の国有林では松くい虫による被害が例年発生しています。防除の実施に当たっては自然環境の保全に十分留意するとともに、地元自治体等との連携により、被害のまん延防止対策の実施に努めます。

【立木被覆によるまん延防止対策】



西鴨国有林（倉吉市）

【カシナガトラップによる誘引防除】



西鴨国有林（倉吉市）

【松くい虫防除薬剤の樹幹注入作業】



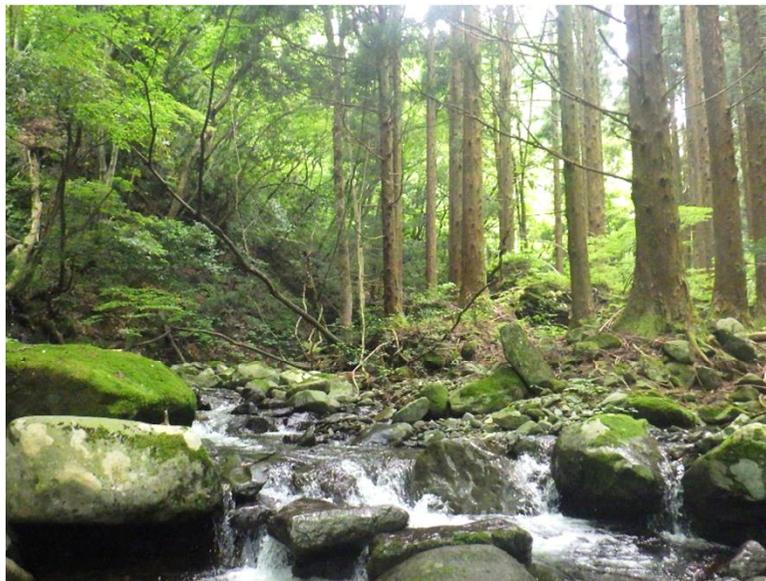
汐川前国有林（北栄町）

病虫害	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な市町村
カシノナガキクイムシ	4.49ha	0.80ha	0.07ha	倉吉市
松くい虫	—	0.48ha	0.03ha	北栄町

計画のポイント④ 「^{けいはん}溪畔周辺の取扱い」

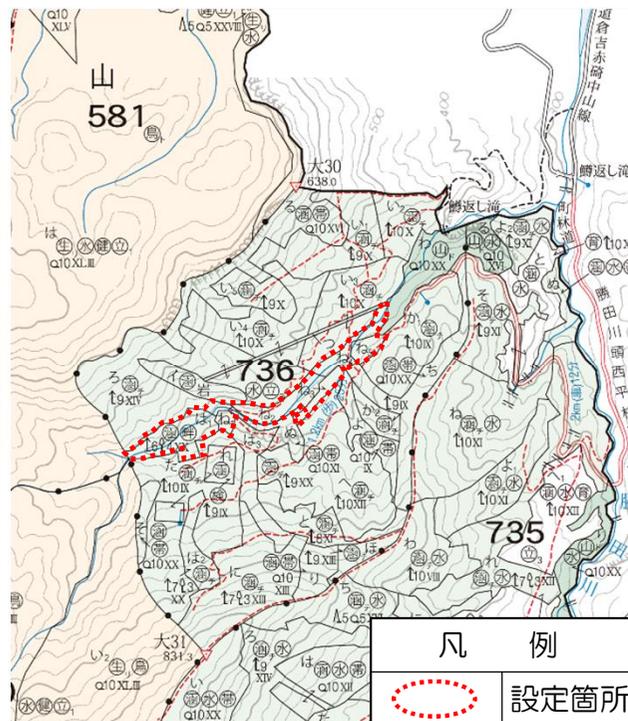
- ◆ 野生生物の生育・生息の場や移動経路の提供、種子などの供給源等として生物多様性の保全上重要な役割を担っている^{けいはん}溪畔部について、そこに位置する人工林を「^{けいはん}溪畔林」に設定し、本来の植生を回復させることにより上流から下流まで連続した森林生態系ネットワークの形成に取り組みます。
- ◆ 「大山森林生態系保護地域」の下流に所在する船上山国有林（琴浦町）に約5haの^{けいはん}「^{けいはん}溪畔林」を新たに設定します。

【新設予定の勝田川^{けいはん}溪畔林】



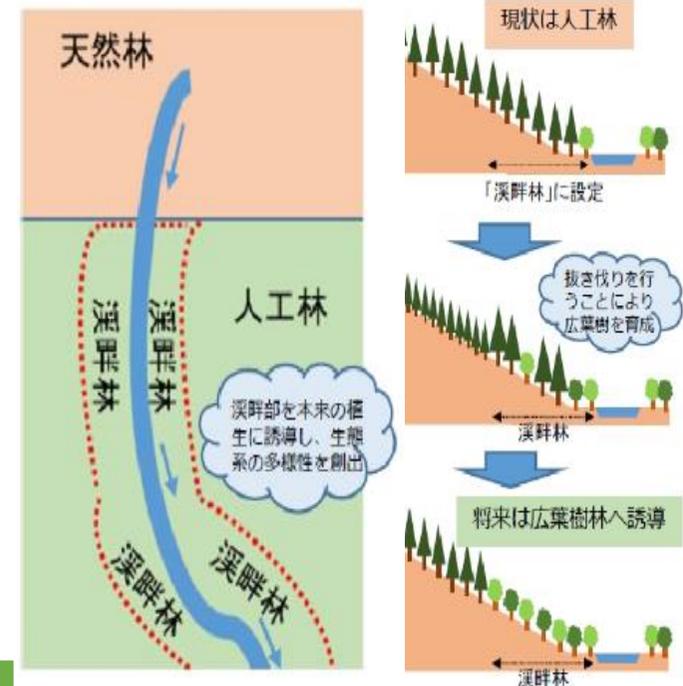
船上山国有林（琴浦町）

上流域に所在する大山森林生態系保護地域から下流まで連続した森林生態系ネットワークの形成に取り組みます。



凡	例
	設定箇所

設定イメージ



名称	面積 (ha)	流路延長	国有林名 (市町村)	備考
勝田川 ^{けいはん} 溪畔林	4.71	950m	船上山 (琴浦町)	新規設定

計画のポイント⑤ 「林業技術の開発、指導及び普及」

- ◆ 効率的な森林管理及び健全な森林の育成技術の確立に向けた技術開発を推進し、研究機関等が行う林業技術の開発等へのフィールド提供を積極的に行います。
- ◆ 本計画区では、将来的な花粉症対策苗の普及促進に向けた少花粉スギ苗の成長比較試験や、積雪地におけるシカ防護柵の実証試験を行っています。

【少花粉スギ苗の成長比較試験】

生分解性コンテナで養生した少花粉スギ苗



成長量調査



西鴨国有林（倉吉市）

【積雪地における新たな森林防護柵の実証試験】

新たな森林防護柵試作型

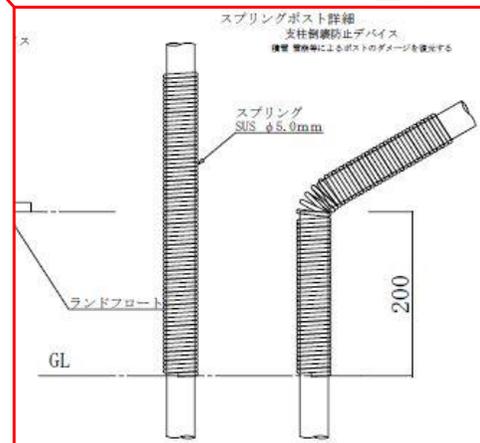


西鴨国有林（倉吉市）

積雪により破損した従来型防護柵



西鴨国有林（倉吉市）



従来の防護柵では、積雪により支柱が折損したり、傾斜地では融雪時の雪移動により、破損する事例が多いことから、ネット部をワイヤー化し耐久性の向上、支柱根元にスプリングを配置することにより、柔軟性・耐久性の向上を図った試作型。

新計画における主要事業量

区分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主伐	(103ha) 23,596m ³	(34ha) 7,497m ³	複層林へ誘導するための伐採を計画したため、計画量が増加しています。
	間伐	(909ha) 107,289m ³	(1057ha) 108,830m ³	間伐対象林分の減少に伴い、計画量が減少しています。
更新総量	人工造林	86.87ha	39.80ha	主伐量の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	天然更新	—	—	—
保育総量	下刈	197.74ha	101.57ha	造林面積の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	除伐	—	—	—
林道事業	開設	709m	900m	間伐等の森林整備の計画箇所を勘案し、計画量が減少しています。
	改良	110m	—	豪雨等により被害があった修繕箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
治山事業	保全施設	4箇所	3箇所	荒廃地復旧箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
	保安林の整備	—	34.03ha	整備対象森林が減少に伴い、計画面積が減少しています。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加

青字：現計画より計画量が減少

主伐（複層林への誘導）計画箇所



真山国有林（三朝町）

間伐計画箇所



中津国有林（三朝町）

⑤ 吉野森林計画区の地域管理経営計画等について（奈良森林管理事務所）

国有林野の基本データについて

- ◆ 森林計画区の区域は、奈良県中央部の1市3町3村となっています。
- ◆ 国有林野は2,057haであり、計画区総土地面積の2%、森林面積の3%を占めています。
- ◆ 五條市、大淀町、川上村に団地が点在しています。

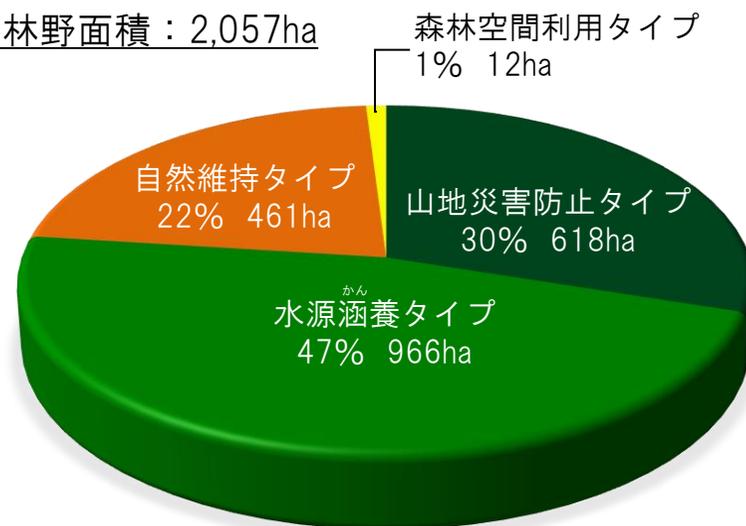


森林計画区内における森林面積の割合



機能類型別森林面積

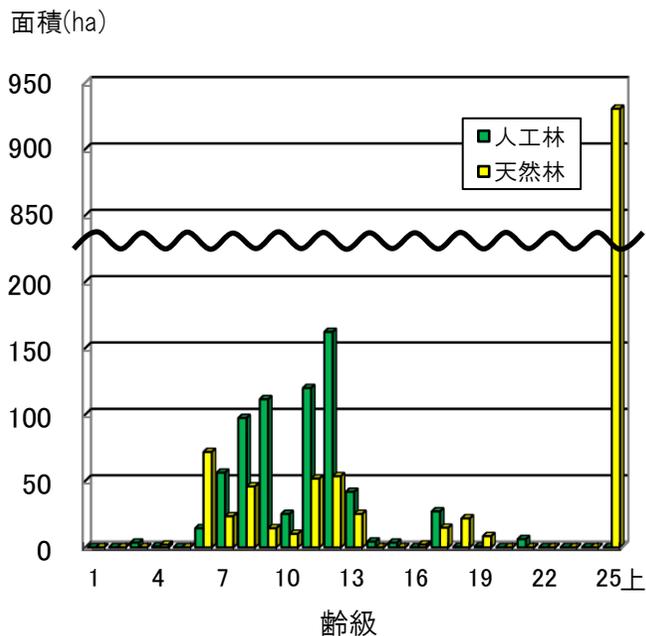
国有林野面積：2,057ha



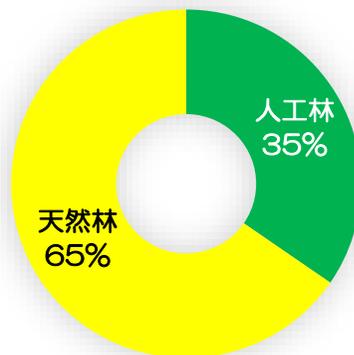
国有林野の特徴

- ◆ 国有林野面積の98%が水源かん養保安林に指定されており、水源涵養機能の確保に重要な役割を担っています。
- ◆ 森林計画区内の国有林のうち65%を天然林が占めており、多様な森林景観や豊かな観光資源を有することから、その一部が「吉野熊野国立公園」や「大台ヶ原・大峯山・大杉谷ユネスコエコパーク」が指定され、トレッキングなど森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として広く利用されています。

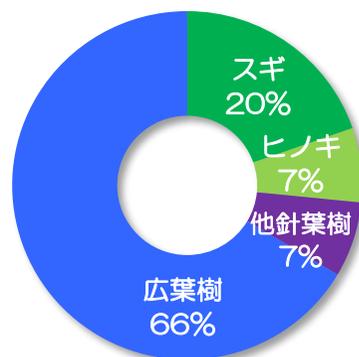
齢級別面積（R5.3.31時点）



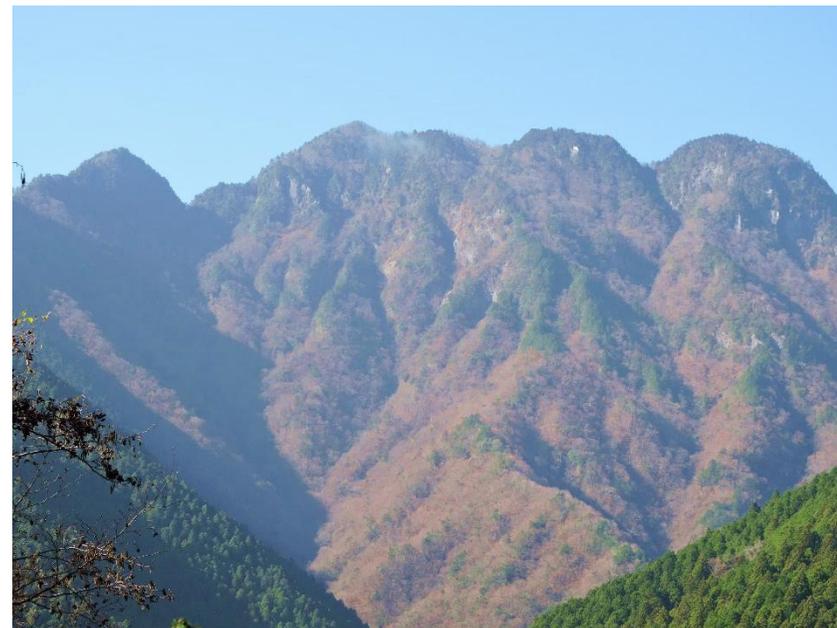
人天別面積割合



樹種別面積割合



【ユネスコエコパークが指定されている伯母谷国有林】



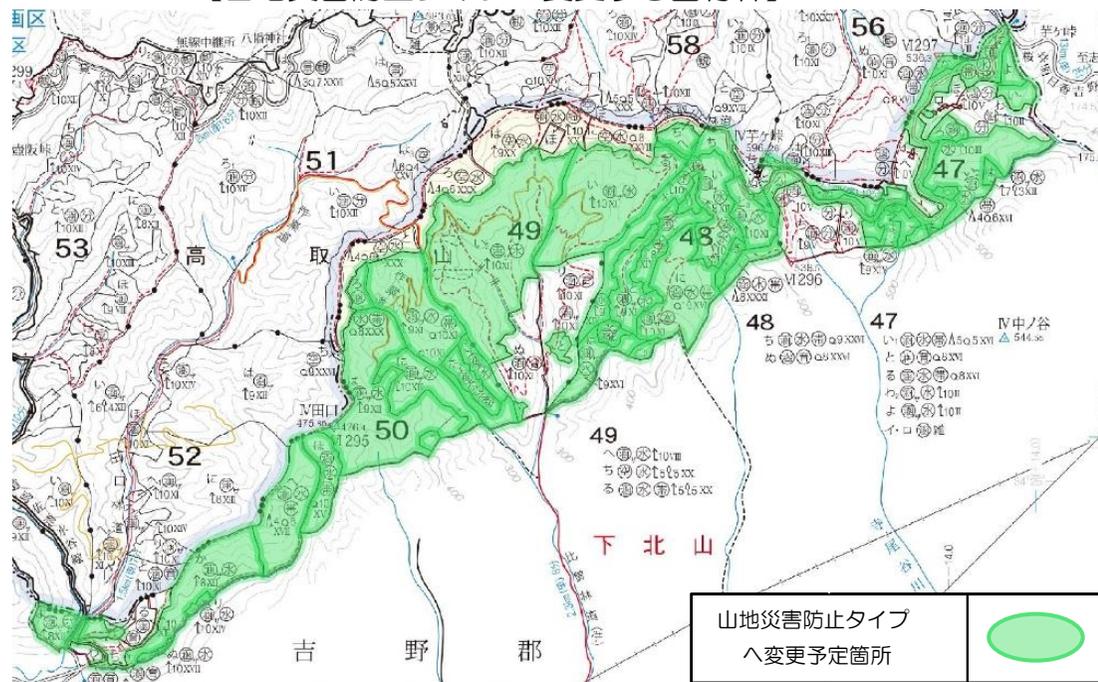
伯母谷国有林（川上村）

※ 齢級とは、5年をひとくくりとしたもので、林齢が1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、・・・と続きます。

計画のポイント① 「災害に強い国土基盤の形成に向けた機能類型の変更」

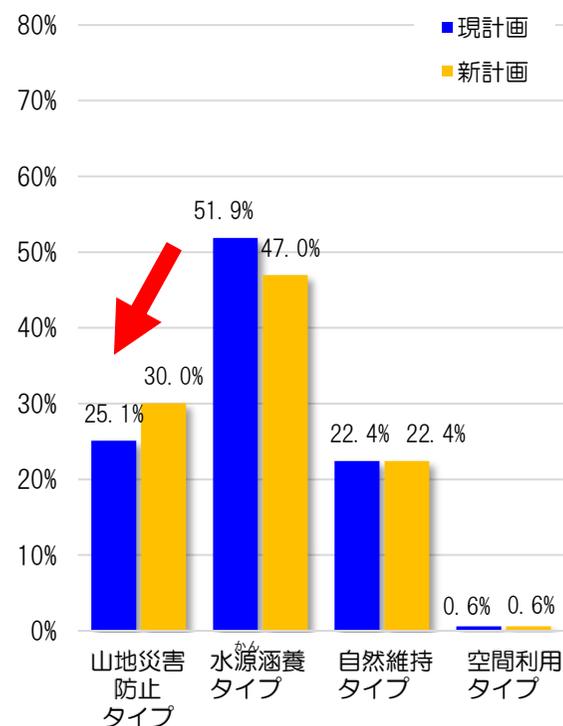
- ◆ 気候変動による豪雨の増加等に伴い、山地災害が激甚化・多様化していることを踏まえ、事前防災・減災の考え方に立ち、計画区内の山地災害危険地区(山腹崩壊危険地区) 1箇所 (101.72ha) の機能類型を見直し、「山地災害防止タイプ」へ変更します。

【山地災害防止タイプへ変更する国有林】



高取山国有林 (大淀町)

【現計画と新計画の機能類型別面積割合】



機能類型	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	国有林 (市町村)	変更前の機能類型
山地災害防止タイプ	618.21	516.49	+101.72	高取山 (大淀町)	水源涵養タイプ

計画のポイント②「山地災害への対応」

- ◆ 治山事業は、民有林治山事業と連携し、自然環境の保全への配慮や木材利用、コスト縮減等に努めながら、荒廃地の整備、災害復旧、保安林の整備等を計画的に実施します。
- ◆ 本計画区では、豪雨等により荒廃した山地において、山腹斜面の安定化を図る山腹工、荒廃溪流への溪間工を設置するとともに、平成29年度の台風21号により発生した山腹崩壊箇所の復旧工事を引き続き計画しています。

【山腹工施工前】



【山腹工により復旧】



高取山国有林（大淀町）

【溪間工施工後】



高取山国有林（大淀町）

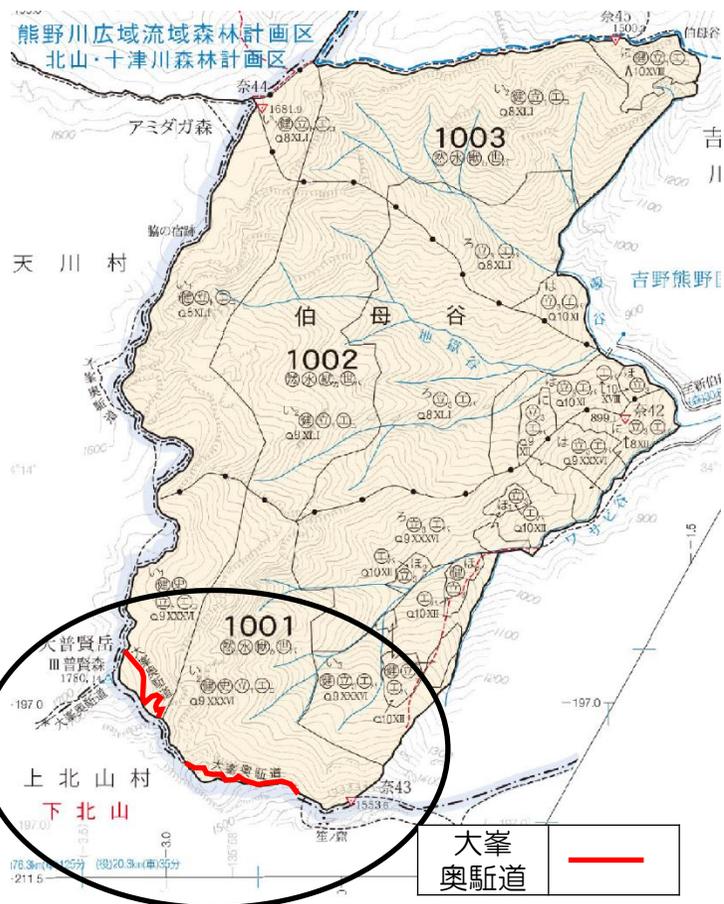
【山腹工計画箇所】



高取山国有林（大淀町）

計画のポイント③ 「世界文化遺産^{もり}貢献の森林」

- ◆ 本計画区では、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に指定されている三つの霊場、それらを結ぶ参詣道の内、「大峯奥駈道」が所在しています。
- ◆ 世界文化遺産に所在する叔母谷国有林に世界文化遺産貢献の森林を設定し、「紀伊山地の霊場と参詣道」の文化的景観を形成している森林の風致の維持向上を図るため整備を行い、森林の重要性や森林と文化財のかかわり等を普及する象徴的・総合的な拠点となるよう取り組みます。



【霊場「大峯」】



伯母谷国有林 (川上村)

【大峯奥駈道】



伯母谷国有林 (川上村)

- ・大峯奥駈道 (おおみねおくがけみち)

標高1,200m~1,900mの急峻な山岳道は、吉野・大峯と熊野の霊場を結ぶ修験道の修行場となっている。大峯奥駈道には、75の靡(なびき)と呼ばれる行場(霊場)があり、修行の場となっていた。我が国固有の信仰である修験道の最も重要な修行の場となっていた大峯奥駈道は、今もその姿を良好に留め、我が国の修験道の歴史を考える上で極めて重要な遺跡である。
文書一部引用：文化遺産オンラインHP (文化庁)

計画のポイント④ 「国民の参加による森林の整備」

- ◆ 企業による社会貢献活動の一環として行う森林整備活動、森林・登山道の管理等の象徴的な活動を支援するため、協定を締結して活動のフィールドを提供する「法人の^{もり}森林」を設定しています。

設定の目的	箇所数	国有林名（市町村）	面積 (ha)
法人の ^{もり} 森林	5	高取山（大淀町）	7.15

【間伐作業】



高取山国有林（大淀町）

【看板新設作業】



高取山国有林（大淀町）

新計画における主要事業量

区 分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主 伐	(16ha) 5,343m ³	(2ha) 792m ³	伐期を迎える分収林の増加に伴い、計画量が増加しています。
	間 伐	(289ha) 42,723m ³	(373ha) 49,253m ³	間伐対象林分の減少に伴い、計画量が減少しています。
更新総量	人工造林	12.60ha	1.60ha	主伐の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	天然更新	—	—	—
保育総量	下 刈	37.80ha	4.80ha	人工造林の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	除 伐	—	0.84ha	対象箇所減少に伴い、計画面積が減少しています。
林道事業	開 設	2,130m	3,400m	森林整備箇所に応じて優先度を勘案した結果、計画量が減少しています。
	改 良	156m	200m	修繕箇所の減少に伴い、計画量が減少しています。
治山事業	保全施設	4箇所	5箇所	荒廃地復旧箇所の減少に伴い、計画量が減少しています。
	保安林の整備	—	27.98ha	整備対象森林の減少に伴い、計画量が減少しています。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加 青字：現計画より計画量が減少

主伐計画箇所



赤谷国有林（五條市）

間伐計画箇所

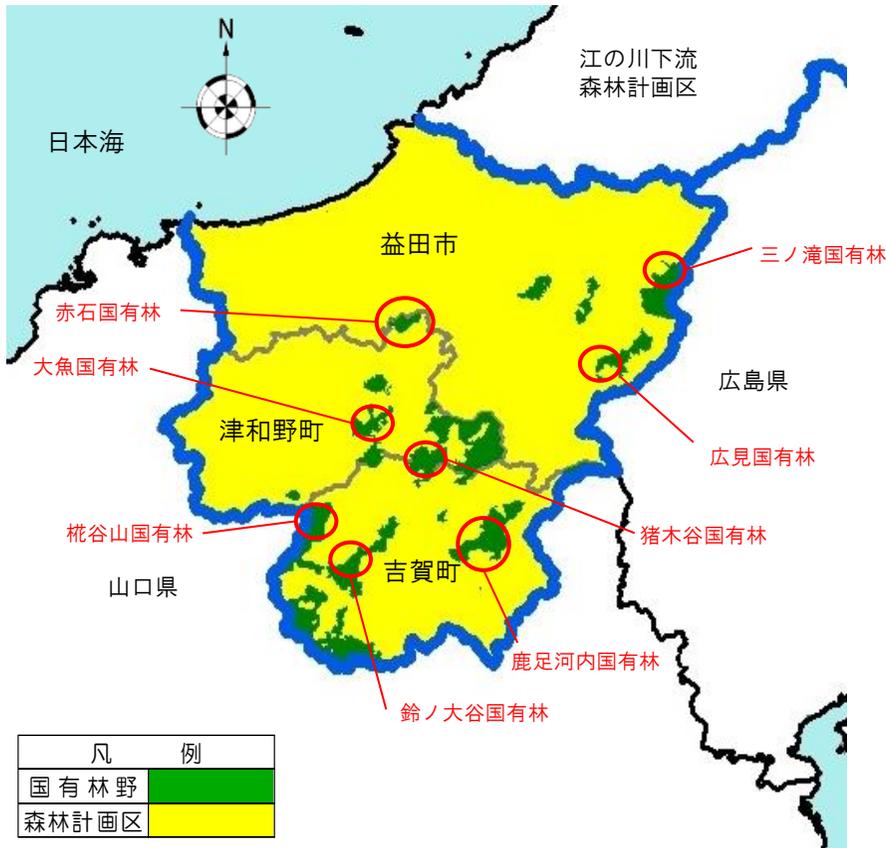


赤谷国有林（五條市）

⑥ 高津川森林計画区の地域管理経営計画等について（島根森林管理署）

国有林野の基本データについて

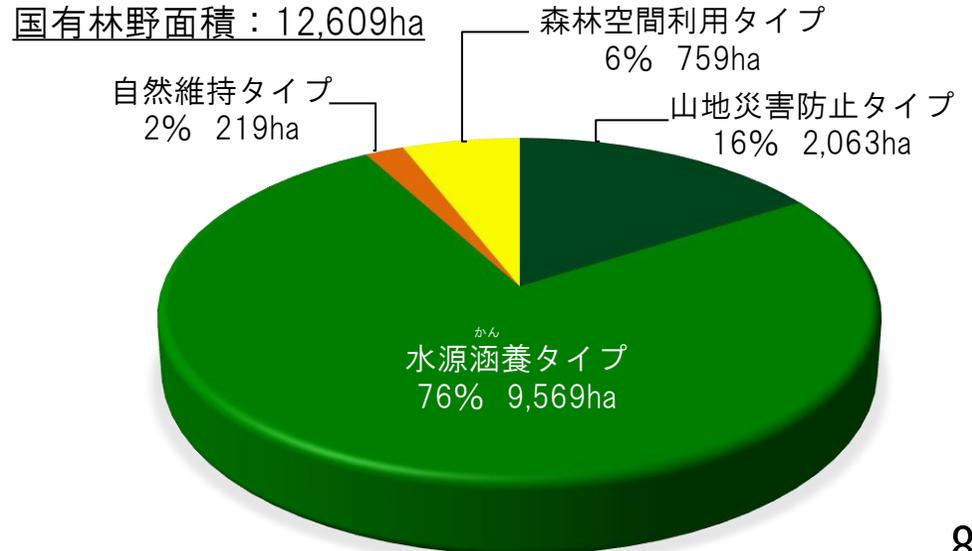
- ◆ 森林計画区の区域は、島根県西部の1市2町となっています。
- ◆ 国有林野は12,609haであり、計画区総土地面積の9%、森林面積の10%を占めています。
- ◆ 島根県の西部に位置し、北部の海岸沿いに小団地が点在、中部から南部の中国山地の脊梁地帯に大小の団地が散在しています。



森林計画区内における森林面積の割合

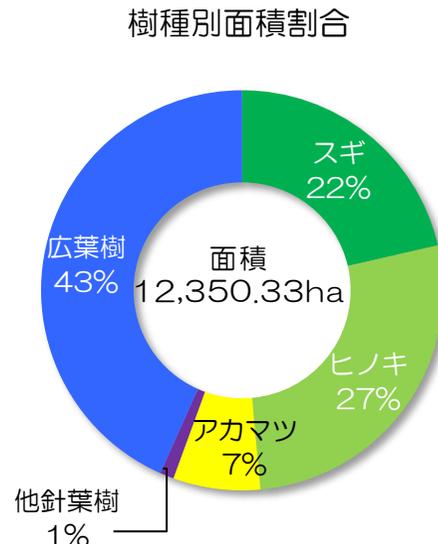
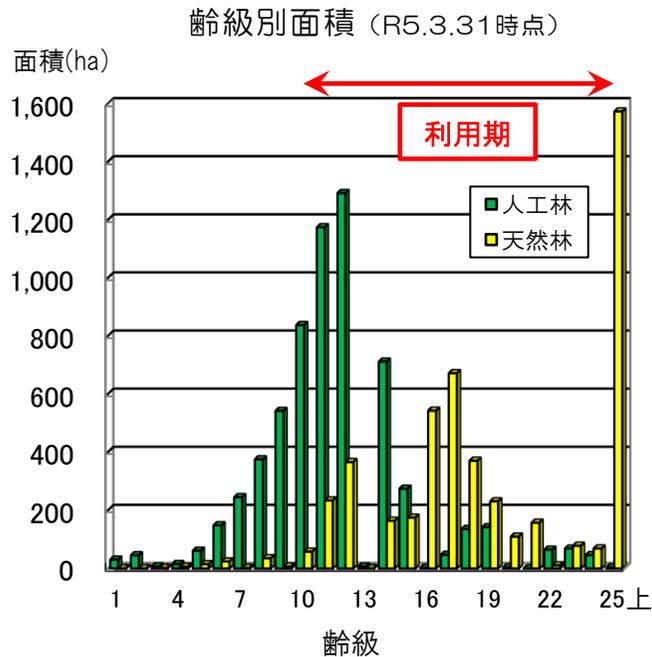


機能類型別森林面積



国有林野の特徴

- ◆ 国有林野の人工林率は58%で、この森林蓄積の約9割が10齢級以上と利用期を迎えていることから、公益的機能の高度発揮を図りつつ、木材の安定供給に努めることとしています。
- ◆ 一部の国有林野は「西中国山地国定公園」に指定され、渓谷や豊かな自然景観などを有し、ハイキングやキャンプなどレクリエーション、保健休養の場として多くの人々に利用されています。
- ◆ 「わさび」栽培の場としての国有林野利活用により、地域の振興に寄与しています。



【国有林内で栽培しているわさび田】



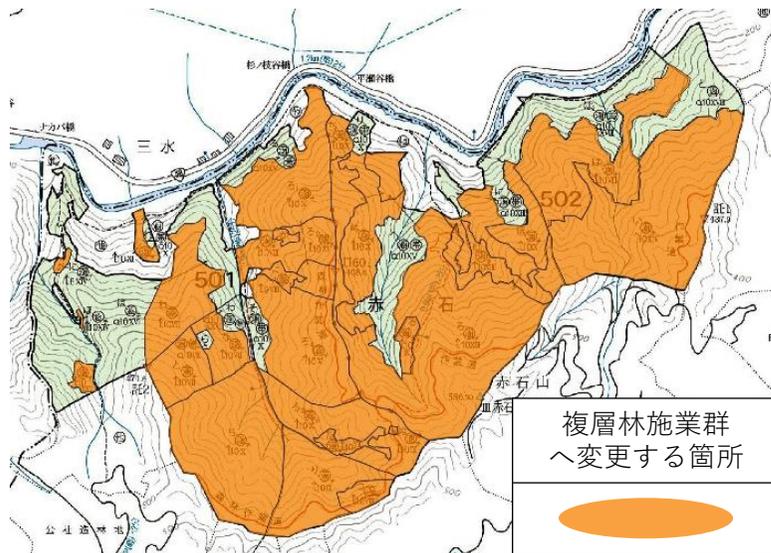
猪木谷国有林 (津和野町)

※ 齢級とは、5年をひとくりとしたもので、林齢が1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、・・・と続きます。

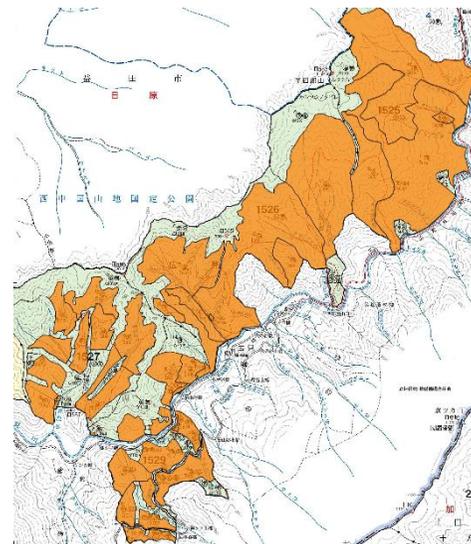
計画のポイント①「森林の有する多面的機能の発揮に向けた施業群の変更」

- ◆ 森林・林業基本計画において、急傾斜地や林地生産力の低い森林のうち、公益的機能と木材等生産機能の発揮を同時に期待する森林については、帯状等の伐採と植栽により育成複層林へと誘導することとされています。
- ◆ 本計画区では、水源涵養^{かん}タイプの人工林のうち2,243.56haを、育成複層林へ誘導する施業を行う「複層林施業群」及び「複層林施業群（面的）」へ変更します。

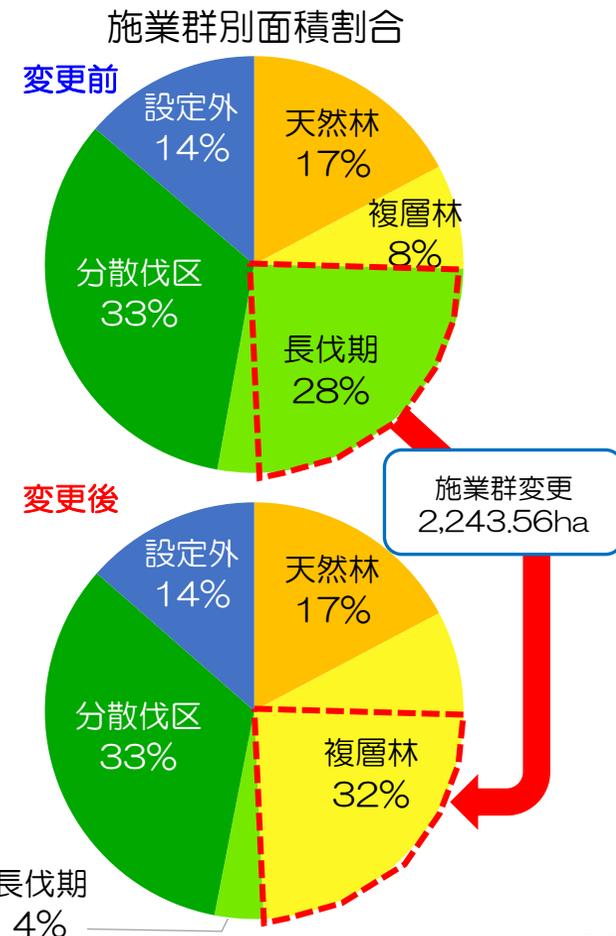
【育成複層林へ誘導する国有林】



赤石国有林（津和野町）



広見国有林（益田市）



施業群	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	変更前の施業群
複層林施業群	2811.09	760.59	+2,050.50	長伐期施業群
複層林施業群 (面的)	193.06	—	+193.06	長伐期施業群

※複層林は複層林施業群及び複層林施業群(面的)

計画のポイント②「民有林と連携した施業の推進」

- ◆ 地域における施業集約化の取組を支援するため、民有林と連携することで事業の効率化や森林経営管理制度の導入に資する区域については、森林整備推進協定を締結するとともに森林共同施業団地を設定しています。
- ◆ 本計画区では6つの協定を締結し、民有林と連結した路網の整備と相互利用の推進、民有林と協調を図りつつ計画的な間伐等や現地検討会等を通じた民有林への森林・林業技術の普及に取り組んでいます。

名称 (所在市町)	対象地		連携して 行う取組み
赤石地域森林 共同施業団地 (津和野町)	民有林	382ha	—
	国有林	236ha	赤石国有林
鹿足河内地域森林 共同施業団地 (吉賀町)	民有林	421ha	—
	国有林	429ha	鹿足河内国有林
大谷地域森林 共同施業団地 (吉賀町)	民有林	552ha	—
	国有林	274ha	大谷国有林 猿走り官行造林地
大山地域森林 共同施業団地 (益田市)	民有林	865ha	—
	国有林	116ha	大山国有林
細尾地域森林 共同施業団地 (吉賀町)	民有林	531ha	—
	国有林	73ha	細尾国有林
平栃山・中ノ谷 地域森林 共同施業団地 (津和野町・吉賀町)	民有林	778ha	—
	国有林	423ha	平栃山国有林外3 大鹿山官行造林地

【現地研修会の様子（地上型3次元レーザスキャナ実演）】

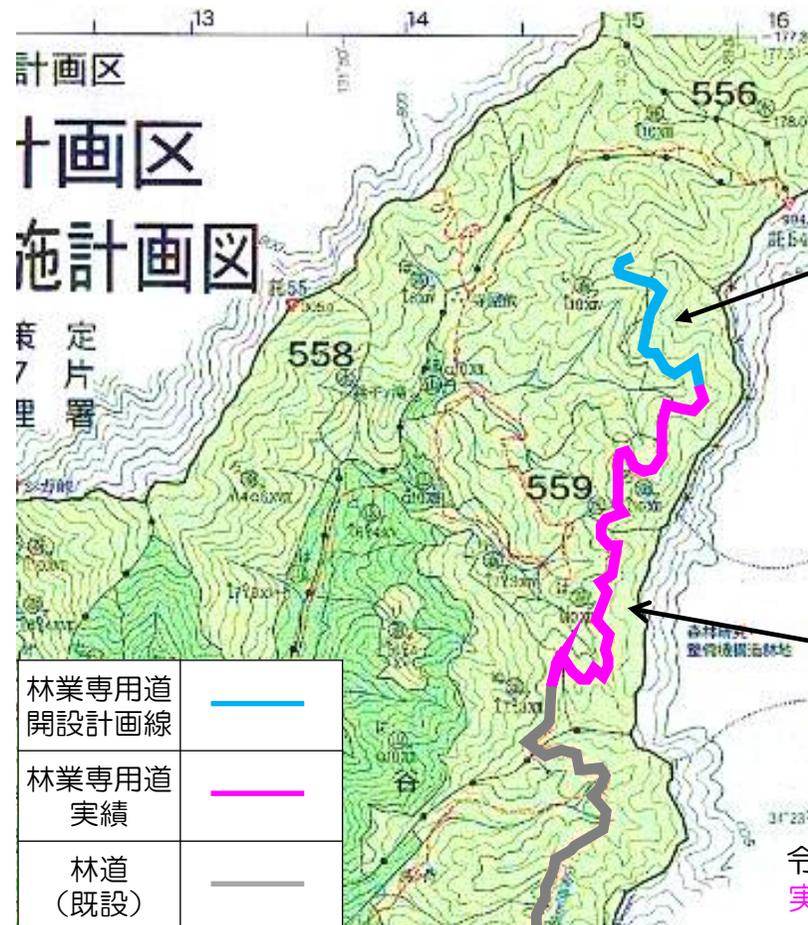


(津和野町)

令和5年11月10日、島根県と島根森林管理署が共同で実施した林業関係団体職員や市町村職員を対象にした、ICT機器を活用した「林業省力化に向けた現地研修会」の様子です。地上型3次元レーザスキャナやAI搭載型ドローン等の実演を行いました。

計画のポイント③「林道等の路網整備」

- ◆ 林産物の搬出、森林の育成、適切な保全管理等を効率的に行うため、自然・社会的条件を考慮しつつ、林道等の路網を計画的に整備します。
- ◆ 幹線林道を補完すべく林業専用道の開設を行い、効率的に森林整備事業が出来るよう計画を行っています。



【林業専用道開設計画箇所】

入江山林業専用道
計画数量：750m

【現計画において開設した林業専用道】

令和元年度～令和5年度
実績：1,280m

鈴ノ大谷国有林（吉賀町）

計画のポイント④ 「公衆の保健のための活用の推進」

- ◆ 本計画区では、「レクリエーションの森」である「大魚風景林」及び「匹見峡風景林」を設定しています。
- ◆ 大魚風景林は、津和野町の国道187号線沿い大魚トンネルより高津川を挟み北側、西側に大魚国有林が位置しています。広葉樹を主体とした天然林（79～172年生）が優占しており、多様な植物を観察できます。
- ◆ 匹見峡風景林は、益田市匹見町の三ノ滝国有林、広見国有林に位置しています。三ノ滝地区の「奥匹見峡」には、大竜頭、桂滝など変化に富んだ滝があります。広見地区は約4kmにわたって断崖と深淵が続く「裏匹見峡」の渓谷があります。

【大魚風景林】

高津川を挟み、四季折々の風景が楽しめる



大魚国有林（津和野町）

【匹見峡風景林】

落差50mの大竜頭の滝



三ノ滝国有林（益田市）

紅葉やハイキングに人気の裏匹見峡の渓谷



広見国有林（益田市）

種 類	名称	国有林名（市町村）	面積 (ha)
風景林	大魚風景林	大魚（津和野町）	108.26
風景林	匹見峡風景林	三ノ滝、広見（益田市）	204.97

新計画における主要事業量

区 分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主 伐	(423ha) 107,850m ³	(244ha) 70,631m ³	複層林誘導のための伐採を計画したため、計画量が増加しています。
	間 伐	(1,479ha) 170,286m ³	(1,913ha) 213,623m ³	間伐対象林分の減少に伴い、計画量が減少しています。
更新総量	人工造林	377.46ha	220.79ha	主伐の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	天然更新	1.69ha	3.47ha	対象箇所減少に伴い、計画面積が減少しています。
保育総量	下 刈	939.32ha	737.71ha	人工造林の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	除 伐	61.01ha	19.24ha	対象箇所増加に伴い、計画面積が増加しています。
林道事業	開 設	750m	3,970m	森林整備箇所に応じた減少に伴い、計画量が減少しています。
	改 良	—	5,608m	修繕箇所の減少に伴い、計画量が減少しています。
治山事業	保全施設	4箇所	10箇所	荒廃地復旧箇所の減少に伴い、計画量が減少しています。
	保安林の整備	140.72ha	57.11ha	整備対象森林の増加に伴い、計画面積が増加しています。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加

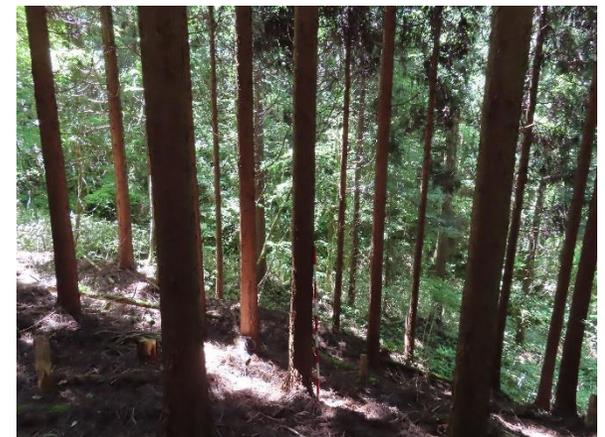
青字：現計画より計画量が減少

主伐（複層林への誘導）計画箇所



椋谷山国有林（吉賀町）

間伐計画箇所



鹿足河内国有林（吉賀町）

⑦ 紀南森林計画区の地域管理経営計画等について（和歌山森林管理署）

国有林野の基本データについて

- ◆ 森林計画区の区域は、和歌山県南部の2市7町1村となっています。
- ◆ 国有林野は10,912haであり、計画区総土地面積の5%、森林面積の5%を占めています。
- ◆ 和歌山県北部の果無山脈と南部の日置川、熊野川の水源地帯及び大浜海岸などに大小の団地が散在しています。

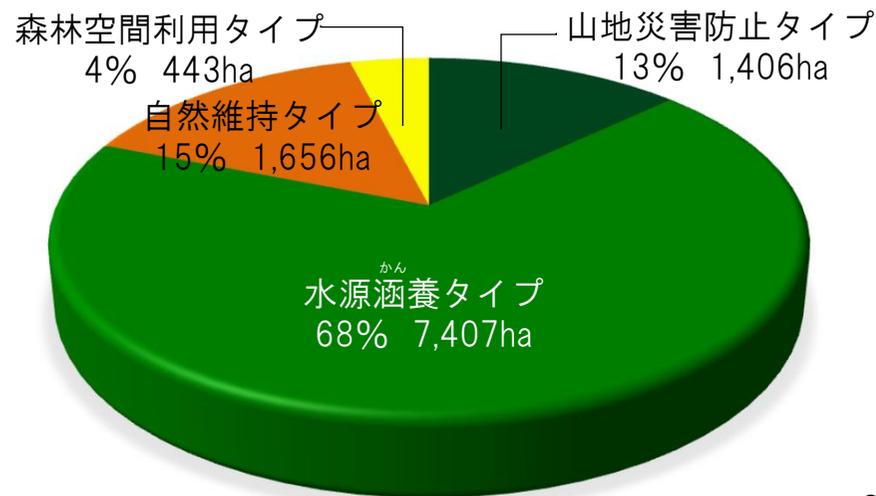


森林計画区における森林面積の割合



機能類型別森林面積

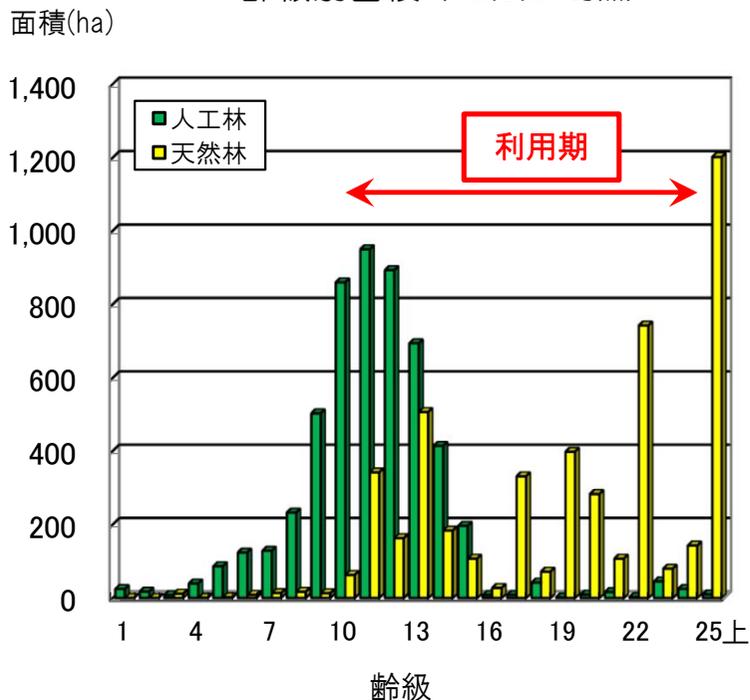
国有林野面積：10,912ha



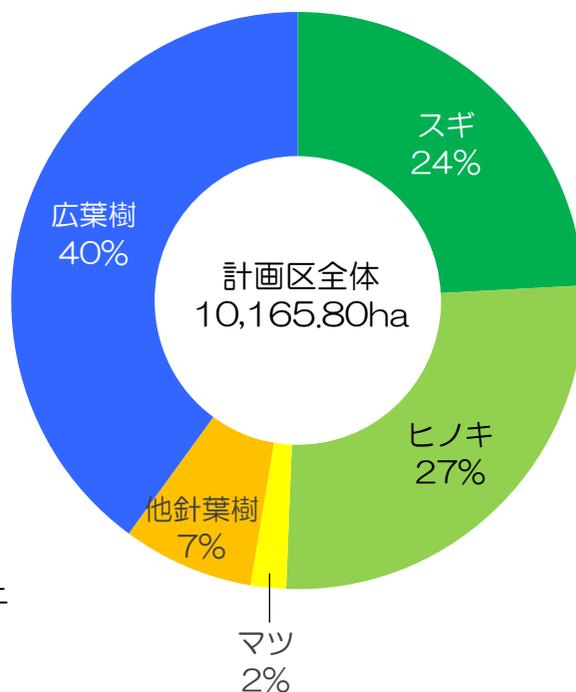
国有林野の特徴

- ◆ 計画区内の国有林野のうち92%が水源かん養保安林に指定されており、重要な水源涵養機能の一端を担っています。
- ◆ 人工林面積が5,340haと国有林野面積の5割以上を占め、人工林の森林蓄積のうち約9割が利用期を迎えており、恵まれた人工林資源を有していることから、公益的機能の高度発揮を図りつつ、木材の安定供給に努めることとしています。
- ◆ 世界文化遺産や「吉野熊野国立自然公園」等が指定されており、豊かな森林景観及び豊富な観光資源に恵まれ、ハイキングなどのレクリエーションや保健休養の場として多くの人々に利用されています。

齢級別面積 (R5.3.31時点)



樹種別面積割合



世界文化遺産貢献の森林

名称	国有林 (市町村)	面積 (ha)
世界文化遺産貢献の森林 (紀伊山地の霊場と参詣道 周辺の国有林)	権現山外4 (新宮市外1)	330.42

世界文化遺産を構成する「熊野参詣道」



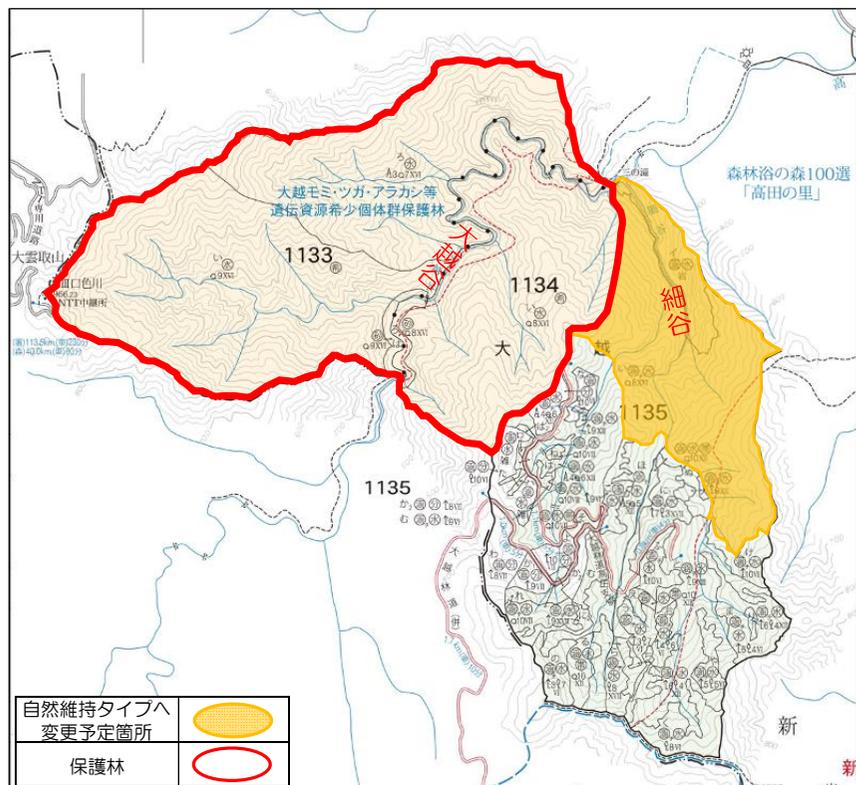
御手洗国有林 (新宮市)

※ 齢級とは、5年をひとくくりとしたもので、林齢が1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、・・・と続きます。

計画のポイント① 「地域を代表する自然環境を形成する国有林野等の機能類型の変更」

- ◆ 田辺市北部等に所在する自然度の高い植生を有する国有林について、機能類型を「水源涵養^{かん}タイプ」から「自然維持タイプ」に変更し、隣接する保護林や周辺の自然維持タイプの国有林と一体的に保全・管理します。

【自然維持タイプへ変更する国有林】



【変更箇所の林内】



大越国有林（新宮市）

【既設保護林の状況】



大越国有林（新宮市）

「大越モミ・ツガ・アカガシ等遺伝資源希少個体群保護林」の区域拡充
 設定面積：193.03ha → 240.33ha（47.30ha増）

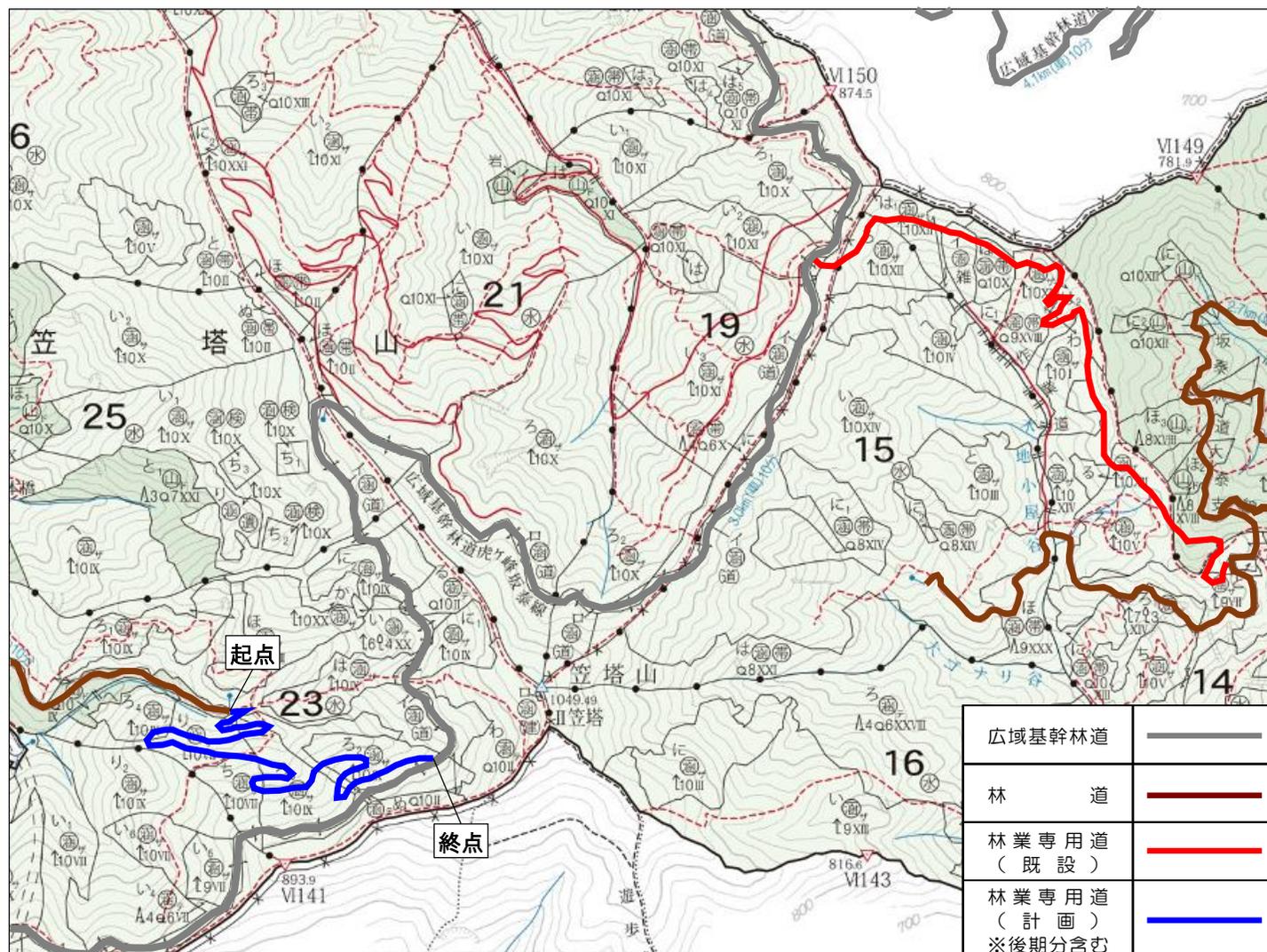
（拡充理由）

林齢約80年生の天然林がまとまって分布しており、植生図のシキミ-モミ群集（植生自然度9）に該当し、隣接する既設保護林と同等の林況であることから、一体的に保護・管理することが適切であるため。

機能類型	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	国有林 (市町村)	変更前の機能類型
自然維持タイプ	1,655.61	1,546.00	+109.61	亀谷 (田辺市) 外和谷 (田辺市) 公門谷 (田辺市) 大越 (新宮市)	水源涵養 ^{かん} タイプ

計画のポイント②「林道等の路網整備」

- ◆ 林産物の搬出、森林の育成、適切な保全管理等を効率的に行うため、自然・社会的条件を考慮しつつ、林道等の路網を計画的に整備します。
- ◆ 本計画区では、幹線となる林道を補完し、森林作業道と組み合わせて、森林施業のために利用する「林業専用道」の開設を行っています。



【現計画において開設した林業専用道】



坂泰山国有林 (田辺市)

【林業専用道開設計画箇所】

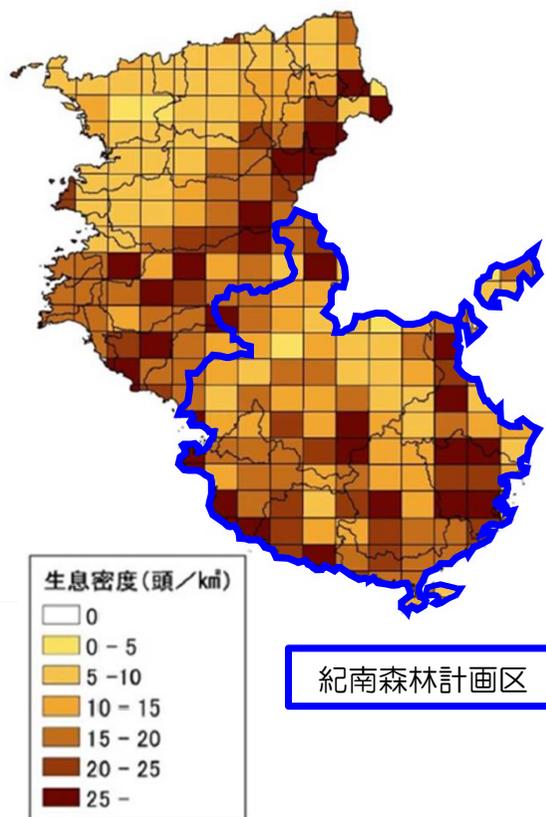


笠塔山国有林 (田辺市)

計画のポイント③「ニホンジカの被害対策」

- ◆ 本計画区はニホンジカの生息密度が高いことから、ほぼ全ての国有林野を「鳥獣害防止森林区域」に設定しており、防護柵や幼齢木保護管の設置等の被害対策を行っています。
- ◆ 地域と一体となった捕獲技術等の普及を図るため、民有林関係者を対象とした現地検討会の開催等に取り組みます。

シカの推定生息密度（令和元年度）



和歌山県第二種特定鳥獣管理計画
(ニホンジカ) 第5期 資料編より

【新しい円形わなの捕獲試験】



大塔山国有林（田辺市）

【新しい円形わな見学会の様子】



大塔山国有林（田辺市）

【植栽箇所に設置した防護柵】



宮城川国有林（すさみ町）

和歌山森林管理署における捕獲実績(全県データ)

年 度	捕獲頭数
平成30年度	61頭
令和元年度	133頭
令和2年度	126頭
令和3年度	125頭
令和4年度	233頭
令和5年度	220頭

※令和5年度は12月末現在の実績です。

計画のポイント④ 「木材の利用促進」

- ◆ 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」により策定された「農林水産省木材利用推進計画」等に基づき、治山事業等の森林土木工事に間伐材等を積極的に利用するなど、自ら木材利用に取り組みます。

【平成23年9月の台風12号による被災状況】



坂泰山国有林（田辺市）



【間伐材を利用した山腹工】



坂泰山国有林（田辺市）

【間伐材を利用した丸太筋工】



公門谷国有林（田辺市）

計画のポイント⑤ 「森林環境教育の推進」

- ◆ 国有林野の豊かな森林環境を子どもたちに提供するため、学校、自治体、NPO、森林インストラクター、民有林関係者等と連携し、森林環境教育に取り組みます。

【森林教室での紙芝居の様子】



新庄幼稚園（田辺市）

【親子クリスマスリースづくり】



新庄幼稚園（田辺市）

【夏休み木工教室】



和歌山森林管理署（田辺市）

【教育機関と連携した森林環境教育】



本宮中学校（田辺市）

新計画における主要事業量

区分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主伐	(180ha) 76,287m ³	(226ha) 105,802m ³	主伐を行う分収林の減少に伴い、計画量が減少しています。
	間伐	(1,487ha) 194,778m ³	(1,407ha) 175,337m ³	間伐対象林分の増加に伴い、計画量が増加しています。
更新総量	人工造林	315.43ha	289.84ha	現計画で主伐を実施した箇所が、現在搬出中であることから、計画面積が増加しています。
	天然更新	—	—	—
保育総量	下刈	964.94ha	915.92ha	造林面積の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	除伐	24.44ha	32.99ha	対象箇所の減少に伴い、計画面積が減少しています。
林道事業	開設	1,000m	6,100m	間伐等の森林整備の計画箇所を勘案し、計画量が減少しています。
	改良	265m	212m	豪雨等により被害があった修繕箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
治山事業	保全施設	18箇所	26箇所	荒廃地復旧箇所の減少に伴い、計画量が減少しています。
	保安林の整備	78.75ha	140.24ha	整備対象森林の減少に伴い、計画面積が減少しています。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加

青字：現計画より計画量が減少

間伐計画箇所



公門谷国有林（田辺市）

下刈計画箇所

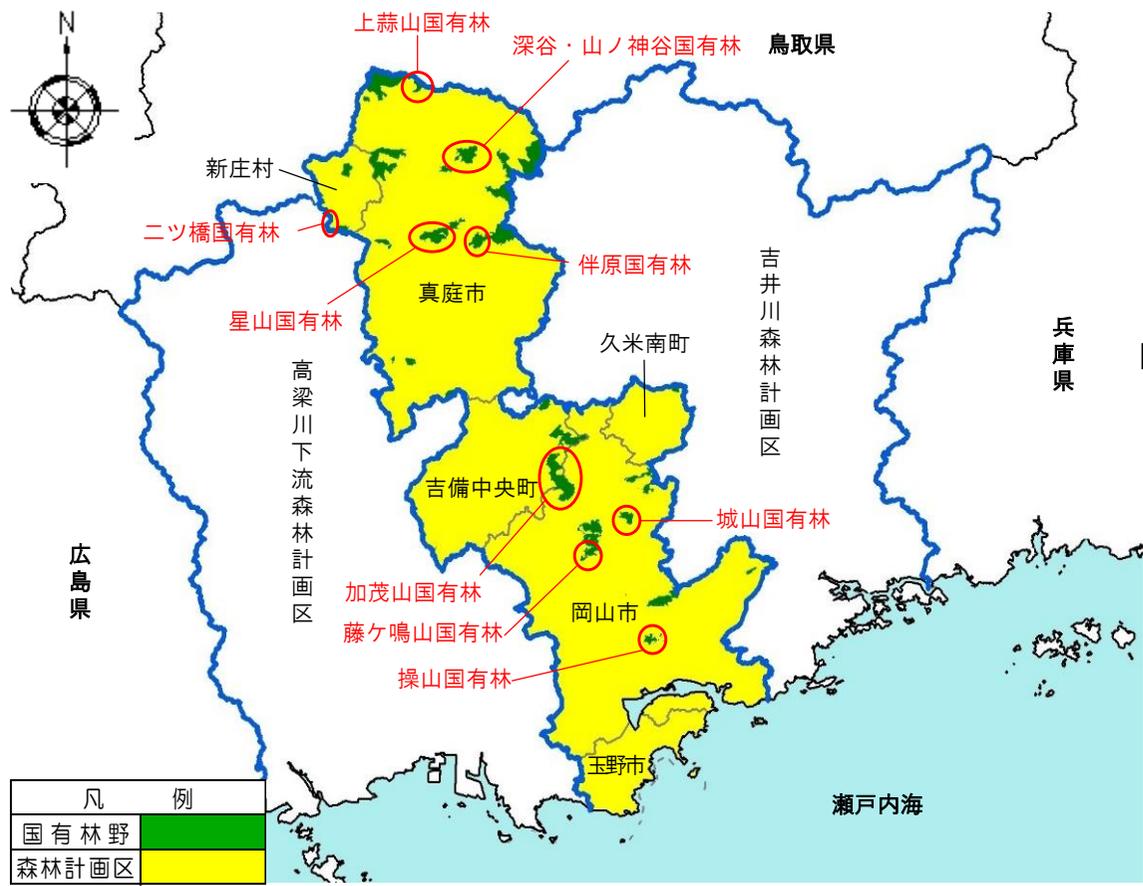


宮城川国有林（すさみ町）

⑧ 旭川森林計画区の地域管理経営計画等について（岡山森林管理署）

国有林野の基本データについて

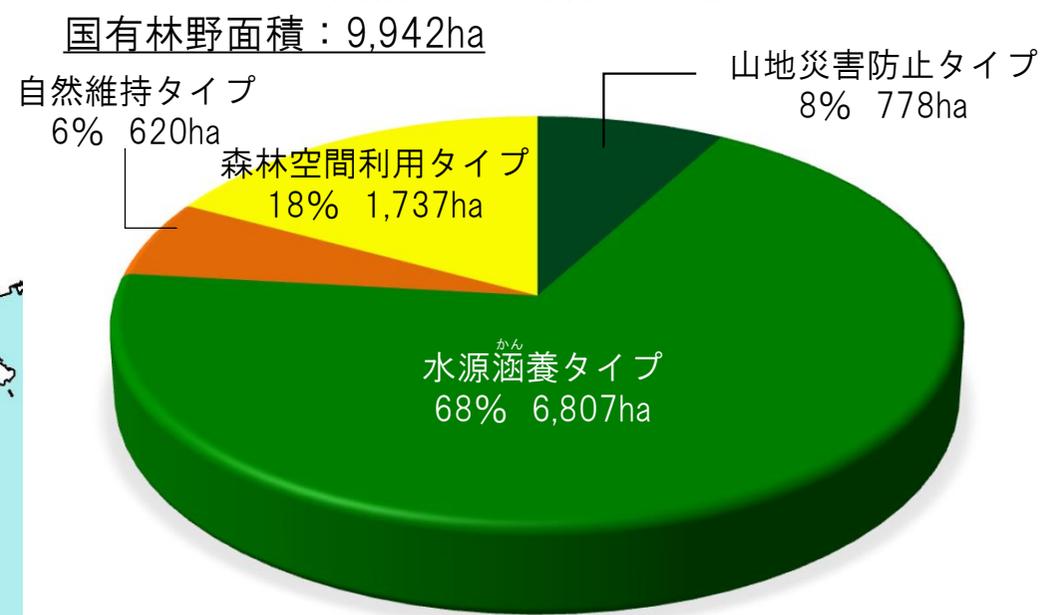
- ◆ 森林計画区の区域は、岡山県中部の3市2町1村となっています。
- ◆ 国有林野は9,942haであり、計画区総土地面積の5%、森林面積の7%を占めています。
- ◆ 岡山県北部の中国山地の脊梁地帯、中部の吉備高原及び南部の岡山平野にかけて大小の団地が散在しています。



森林計画区内における森林面積の割合

	国有林野	森林面積 : 136,582ha
	← 7%	森林率 : 64%
		総土地面積 : 213,660ha

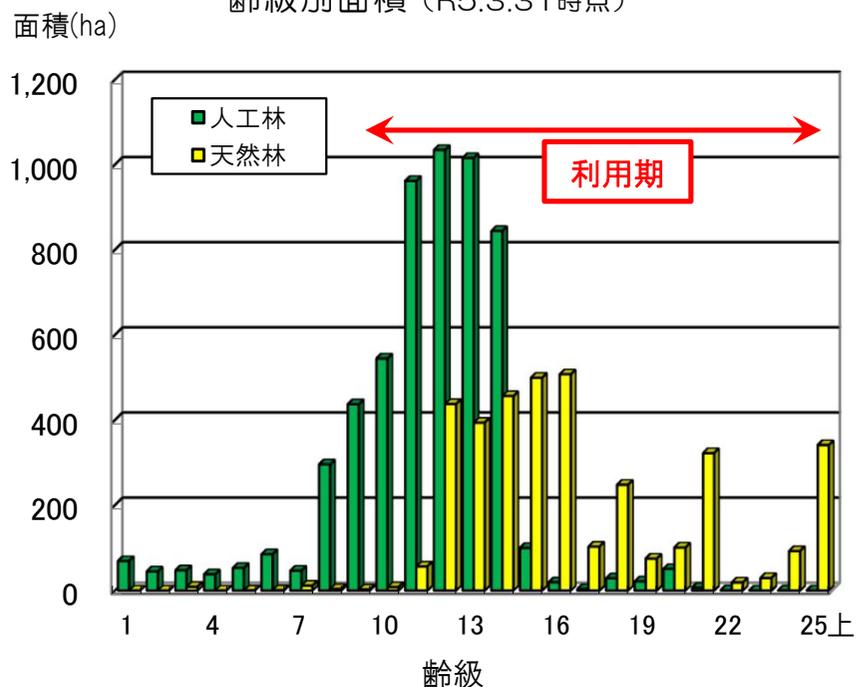
機能類型別森林面積



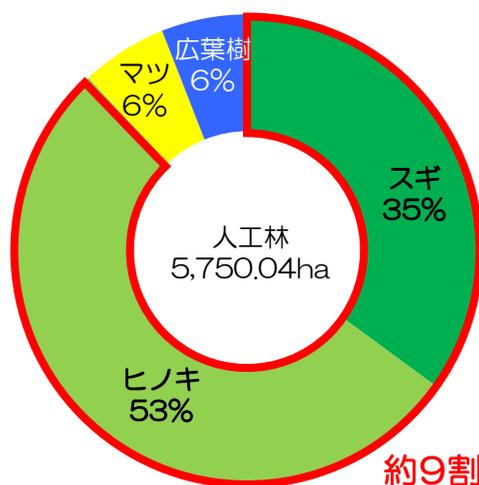
国有林野の特徴

- ◆ 人工林面積が5,750haと国有林野面積の6割を占め、人工林の森林蓄積のうち約9割が利用期を迎えており、恵まれた人工林資源を有しています。
- ◆ スギ・ヒノキの人工林が約9割を占め、公益的機能の高度発揮を図りつつ、木材の安定供給に努めることとしています。
- ◆ 一部の国有林野は「大山隠岐国立公園」や「湯原奥津県立自然公園」等の自然公園に指定されており、これらの国有林野では、ハイキングなど森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されています。

齢級別面積 (R5.3.31時点)

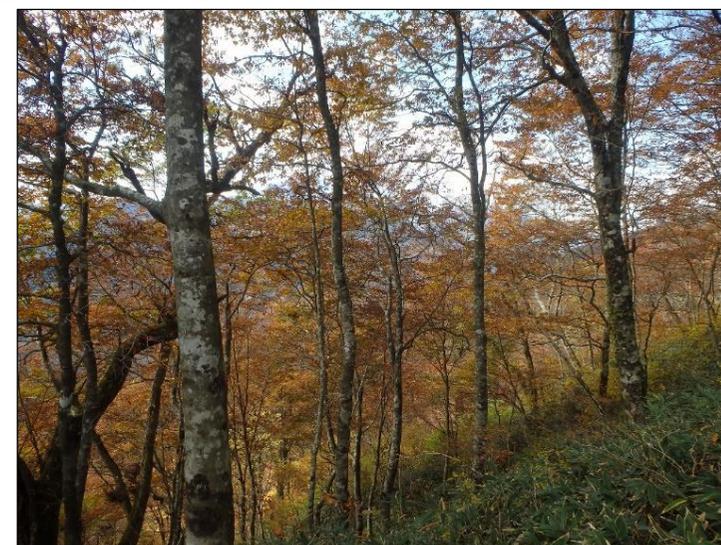


樹種別面積割合



【大山隠岐国立公園の紅葉】

岡山県の北部に連なる「上蒜山」、「中蒜山」、「下蒜山」の三座からなる蒜山は、蒜山高原や日本百名山である大山の雄大な景色を楽しめることから、多くの登山者が訪れています。また、山の稜線付近にブナ林が広がり、紅葉の季節に山肌一面が燃えるように色づく様はまさに絶景です。



上蒜山国有林 (真庭市)

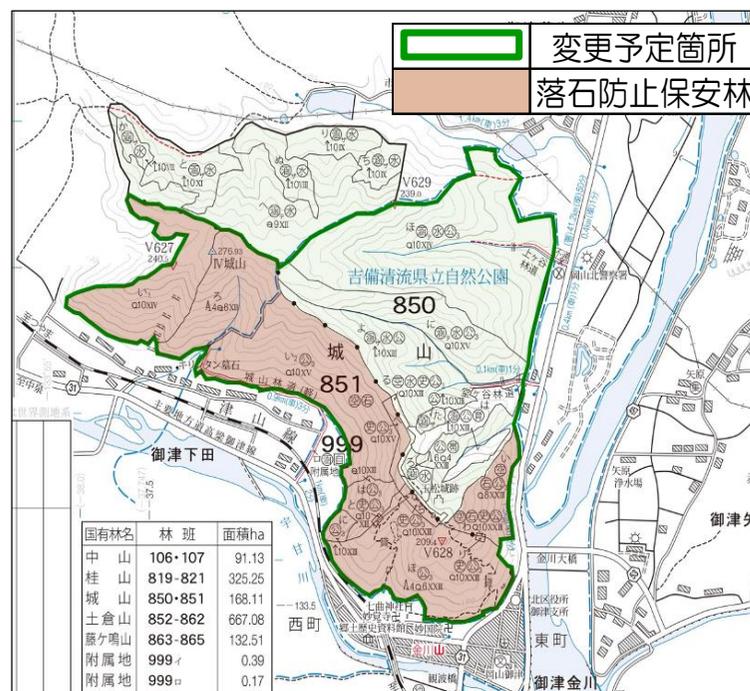
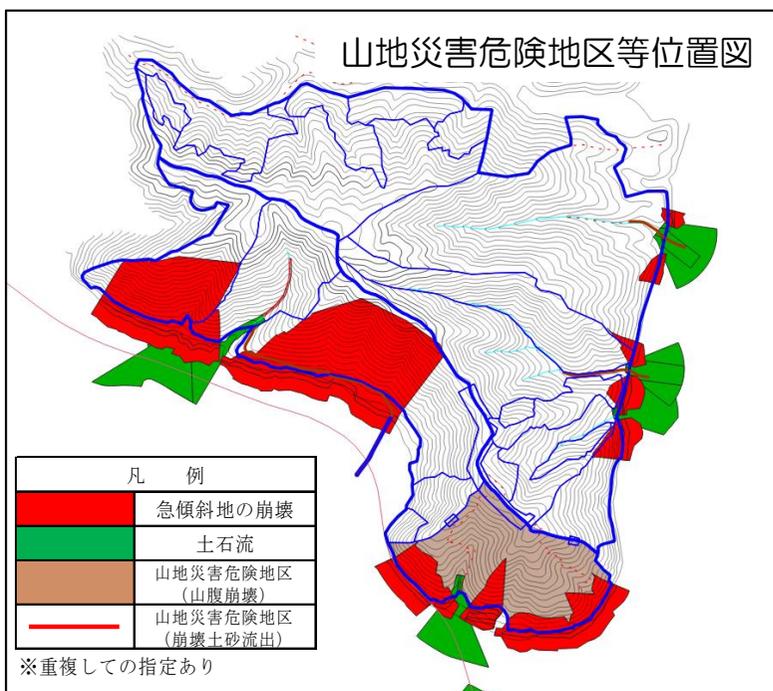
※ 齢級とは、5年をひとくりとしたもので、林齢が1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、・・・と続きます。

計画のポイント① 「災害に強い国土基盤の形成に向けた機能類型の変更」

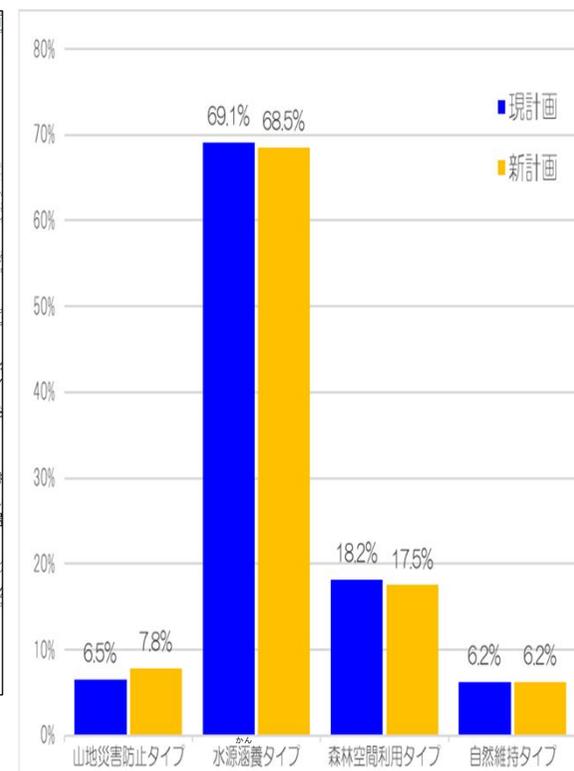
- ◆ 気候変動による豪雨の増加等に伴い、山地災害が激甚化・多様化していることを踏まえ、事前防災・減災の考え方に立ち、計画区内の山地災害危険地区や落石防止保安林に指定されている箇所の機能類型を見直し、「山地災害防止タイプ」へ変更します。

【山地災害防止タイプへ変更する国有林】

【現計画と新計画の機能類型別面積割合】



城山国有林（岡山市）

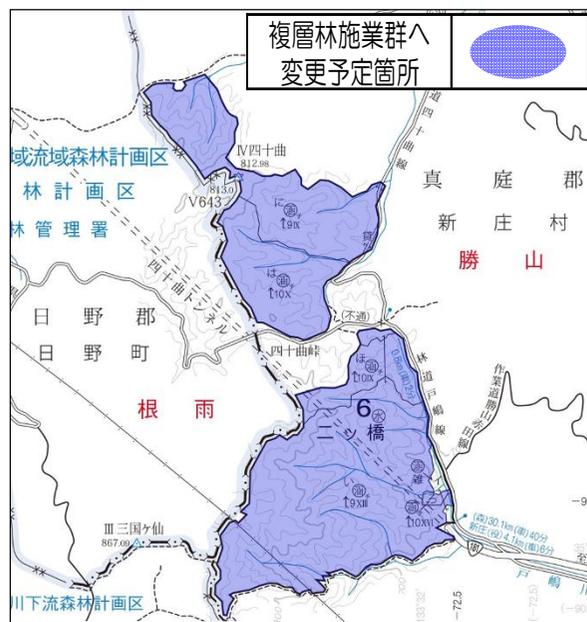


機能類型	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	国有林 (市町村)	変更前の機能類型
山地災害防止タイプ	777.76	641.33	+136.43	加茂山 (岡山市) 城 山 (岡山市) 熊 山 (岡山市)	水源涵養タイプ(67.40ha) 森林空間利用タイプ(69.03ha)

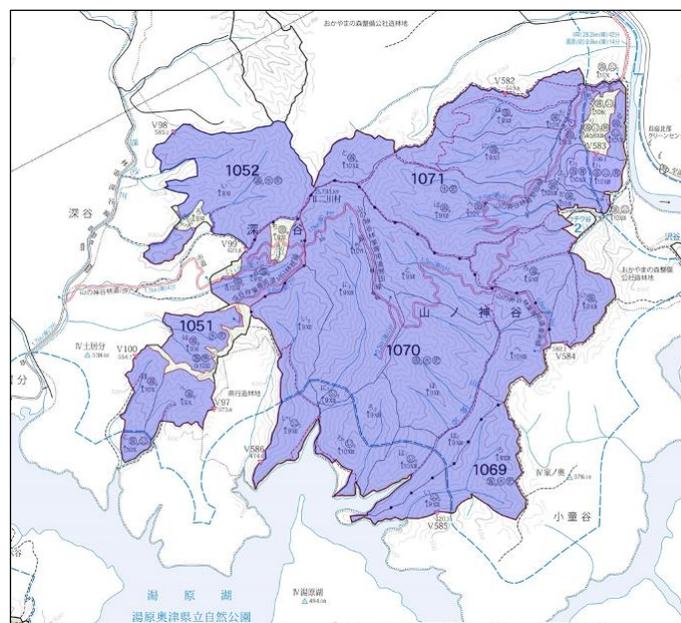
計画のポイント② 「森林の有する多面的機能の発揮に向けた施業群の変更」

- ◆ 森林・林業基本計画において、急傾斜地や林地生産力の低い森林のうち、公益的機能と木材等生産機能の発揮を同時に期待する森林については、帯状等の伐採と植栽により育成複層林へと誘導することとされています。
- ◆ 本計画区では、水源涵養^{かん}タイプの人工林のうち2,284.94haを、育成複層林へ誘導する施業を行う「複層林施業群」及び「複層林施業群（面的）」へ変更します。

【育成複層林へ誘導する国有林】

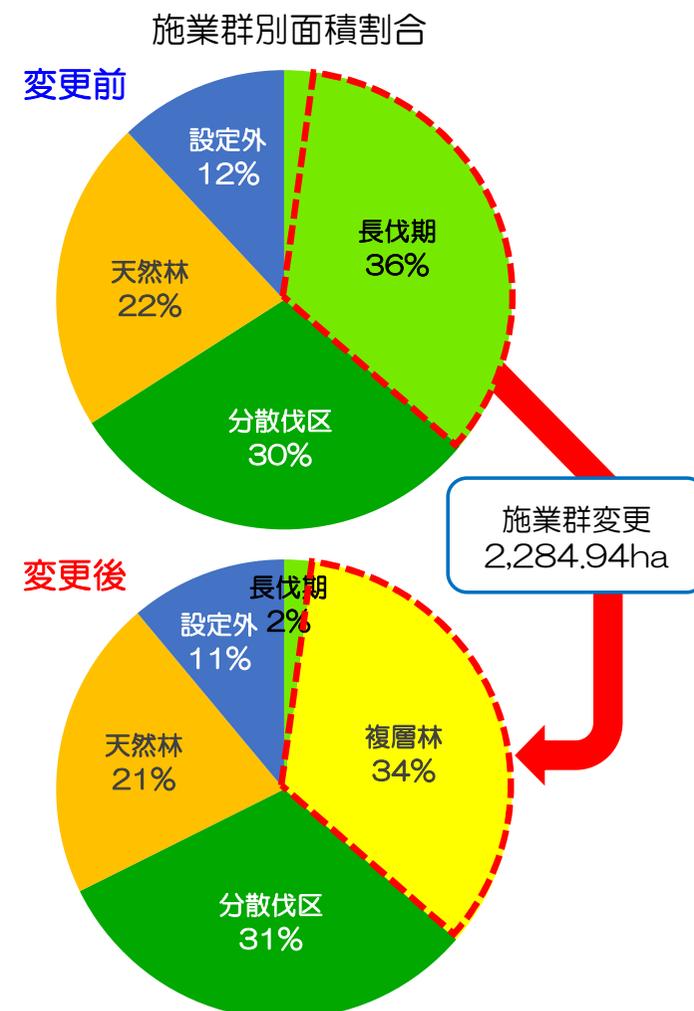


二ツ橋国有林（新庄村）



深谷・山ノ神谷国有林（真庭市）

施業群	新計画 (ha)	現計画 (ha)	現計画比 (ha)	変更前の施業群
複層林施業群	24.82	—	+24.82	長伐期施業群
複層林施業群（面的）	2,260.12	—	+2,260.12	長伐期施業群



※複層林は複層林施業群及び複層林施業群(面的)

計画のポイント③ 「木材の供給」及び「木材の販売」

- ◆ 恵まれた人工林資源を有効活用するため、適正な森林整備を通じ、木材の安定供給に取り組めます。
- ◆ 木材の供給に当たっては、列状間伐、路網、高性能林業機械を組み合わせた効率的な森林整備を進めるとともに、自然条件・社会的条件を考慮して主伐を実施します。
- ◆ 木材の販売に当たっては、協定を締結した需要者に直接販売する「国有林材の安定供給システム販売」を推進することで、地域における計画的かつ安定的な木材供給体制の構築に努めます。

【森林作業道の作設作業】

丸太の運搬、機械の移動等で利用する森林作業道を作設します。



星山国有林（真庭市）

【列状間伐】

植栽列や斜面方向に沿って一定間隔ごとの列を機械的に伐採します。



星山国有林（真庭市）

【プロセッサによる造材作業】

全木集材された材の枝払い、測尺、玉切りを行います。



加茂山国有林（吉備中央町）

【トラック運搬】

木材市場までトラック運搬します。

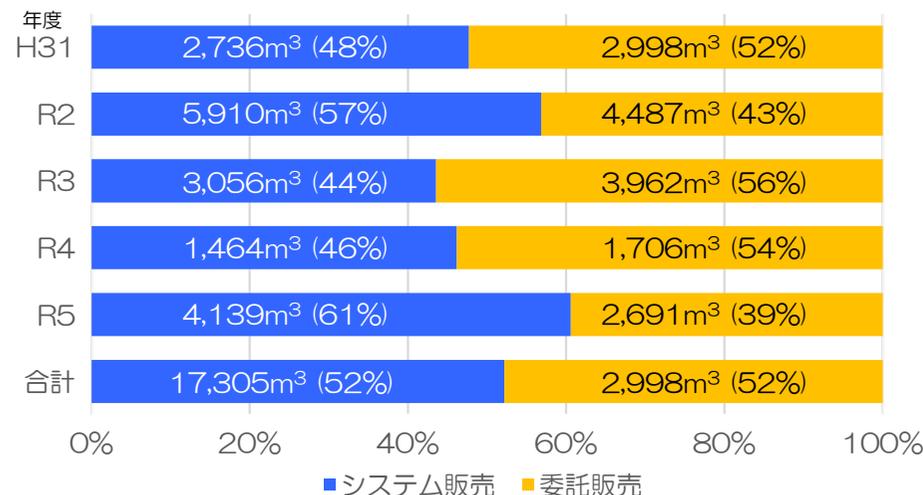


星山国有林（真庭市）

国有林材の安定供給システム販売



システム（製品）、委託別 販売材積割合（旭川森林計画区）



※R5については、令和6年2月迄の材積割合。

計画のポイント④「公衆の保健のための活用の推進」

- ◆ 国民の保健・文化・教育的利用に積極的に供することが適当と認められる国有林野を「レクリエーションの森」として、広く国民に開かれた利用に供します。
- ◆ 操山自然休養林は、岡山市街地の中心部に位置し、優れた景観を有しており、「日本美しの森お薦め国有林」に選定されています。日本三名園の一つである岡山後樂園の借景としてその景観を維持しており、豊かな自然と数多くの古墳や中世城跡等の歴史にふれることのできる市民の憩いのスポットとなっています。
- ◆ 藤ヶ鳴野外スポーツ地域は、昭和63年に開港した岡山空港の周辺土地整備に伴い、隣接する野球場等と一体利用が可能なパブリックゴルフ場等を造成し、地域振興に寄与しています。

【操山自然休養林】

【藤ヶ鳴野外スポーツ地域】

【カナメモチのトンネル】

【操山山頂付近からの展望】

【パブリックゴルフ場】

【研修・保養施設】



操山国有林（岡山市）

藤ヶ鳴山国有林（岡山市）

種 類	名 称	国有林名（市町村）	面積 (ha)	既存施設
自然休養林	操山自然休養林	操山（岡山市）	125.55	遊歩道、展望所
野外スポーツ地域	藤ヶ鳴野外スポーツ地域	藤ヶ鳴山（岡山市）	132.51	ゴルフ場、研修・保養施設、 駐車場、遊歩道等

計画のポイント⑤「国民の参加による森林の整備」

- ◆ 「国民参加の森林づくり」を推進するため、NPO等が行う自主的な森林整備等へのフィールドの提供や必要な技術指導を行うなど、国有林野の積極的な利用を推進します。
- ◆ 本計画区では、ボランティア、NPO、企業等による自主的な森林づくり活動を支援するため、協定を締結して森林づくり等のフィールドを提供する「ふれあいの森」を設定しています。

ふれあいの森での活動状況

【キノコ観察会】

キノコを探し、図鑑を使ってキノコの名前を調べます。



【ノルディックウォーク体験】

楽に歩けるノルディックウォークの基礎を紹介します。



【森林音楽セラピー】

森林セラピーガイドによる里山の案内とサクソ演奏をします。



【自然遊び森のようちえん】

心も体も健康になるため、自然の中で五感を使って遊びます。



【里山の自然発見】

四季折々の自然を観察しながら歩きます。



名称	操山ふれあいの森
面積 (ha)	125.55
協定相手方	(公財)岡山市公園協会
国有林名 (市町村)	操山(岡山市)

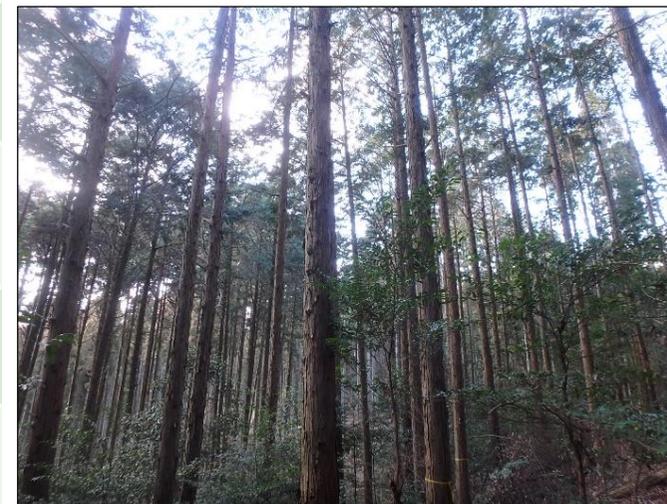
新計画における主要事業量

区分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主伐	(269ha) 89,126m ³	(253ha) 90,422m ³	主伐を行う分収林の減少に伴い、計画量が減少しています。
	間伐	(1,615ha) 166,201m ³	(1,820ha) 174,034m ³	間伐対象林分の減少に伴い、計画量が減少しています。
更新総量	人工造林	316.93ha	269.84ha	主伐量の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	天然更新	—	5.00ha	—
保育総量	下刈	1,153.20ha	866.71ha	造林面積の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	除伐	71.10ha	99.36ha	対象箇所への減少に伴い、計画面積が減少しています。
林道事業	開設	1,007m	1,700m	間伐等の森林整備の計画箇所を勘案し、計画量が減少しています。
	改良	32m	168m	豪雨等により被害があった修繕箇所の減少に伴い、計画量が減少しています。
治山事業	保全施設	3箇所	5箇所	荒廃地復旧箇所の減少に伴い、計画量が減少しています。
	保安林の整備	38.71ha	27.04ha	整備対象森林の増加に伴い、計画面積が増加しています。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加

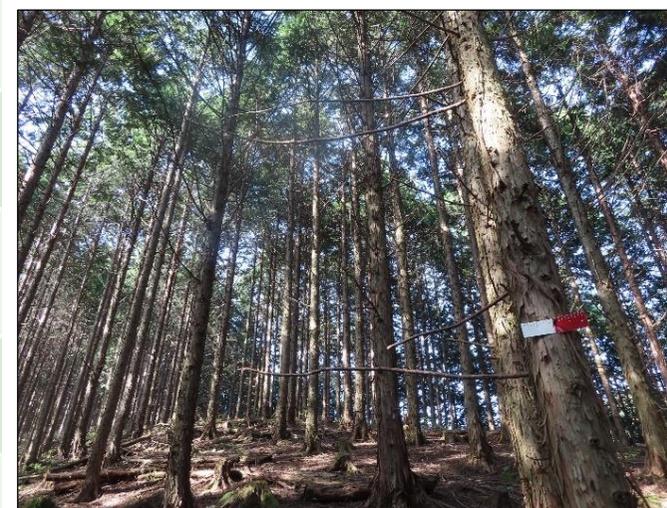
青字：現計画より計画量が減少

主伐（複層林への誘導）計画箇所



加茂山国有林（岡山市）

間伐計画箇所



伴原国有林（真庭市）

⑨ 豊田森林計画区の地域管理経営計画等について（山口森林管理事務所）

国有林野の基本データについて

- ◆ 森林計画区の区域は、山口県西部の2市となっています。
- ◆ 国有林野は236haであり、計画区総土地面積の0.2%、森林面積の0.3%を占めています。
- ◆ 下関市に足河内国有林が所在しています。

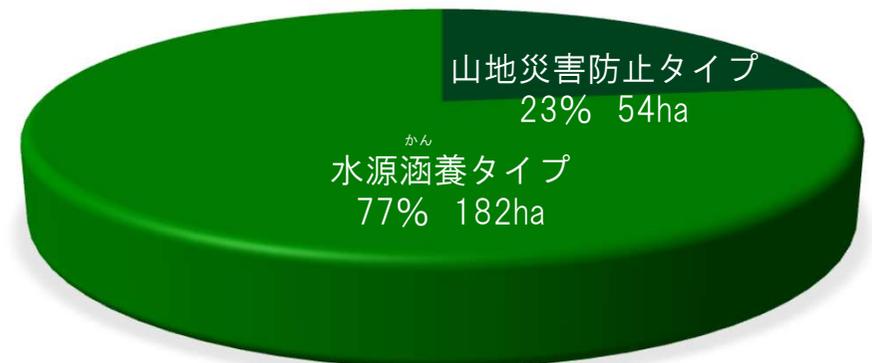


森林計画区内における森林面積の割合

← 国有林野 0.3%	森林面積 : 73,953ha 森林率 : 69%
総土地面積 : 107,349ha	

機能類型別森林面積

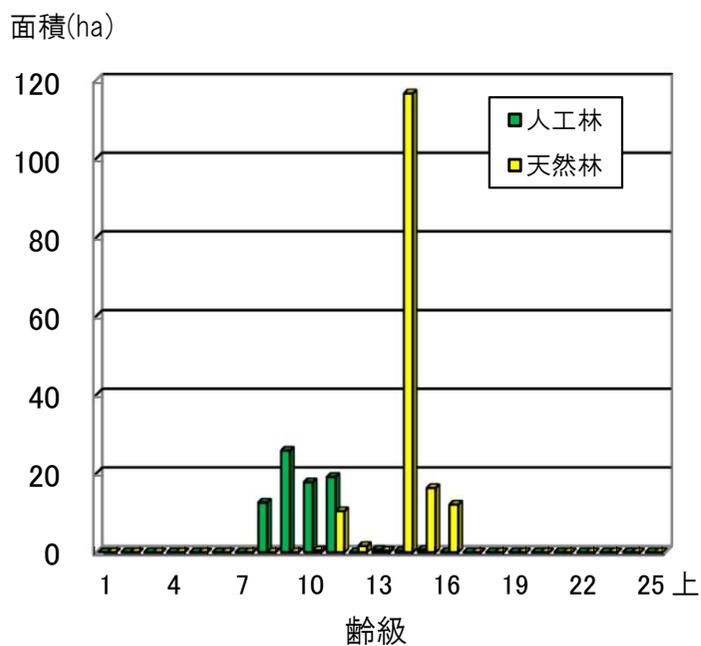
国有林野面積 : 236ha



国有林野の特徴

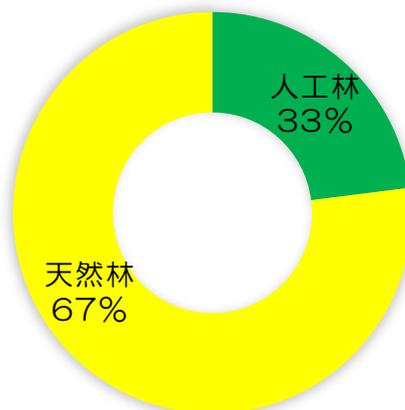
- ◆ 国有林野の67%を天然林が占める一方、33%の人工林については間伐等の適切な実施と主伐後の更新確保による健全な森林の整備とともに、公益的機能の発揮と両立した木材の生産を行います。
- ◆ 国有林野全てを水源かん養保安林に指定し、重要な水源涵養機能の一端を担っています。

齢級別面積 (R5.3.31時点)

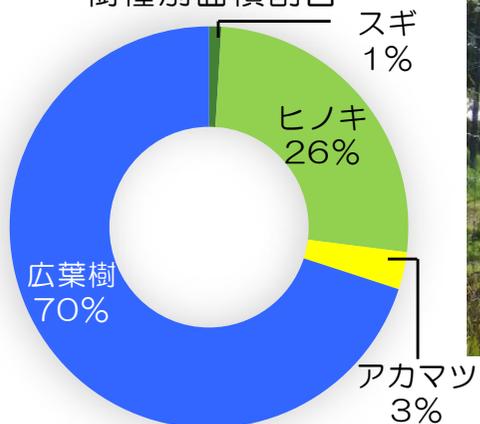


※ 年齢とは、5年をひとくりとしたもので、林齢が1～5年生を1年齢、6～10年生を2年齢、・・・と続きます。

人天別面積割合



樹種別面積割合



【足河内国有林の遠望】



足河内国有林 (下関市)

計画のポイント① 「災害に強い国土基盤の形成」

- ◆ 国土の保全、水源の涵養^{かん}や生物多様性の保全など、公益的機能の発揮に努めます。
- ◆ 特に近年の災害の激甚化を踏まえ、災害に強い安全な国土づくりとして、水源涵養機能^{かん}を高度発揮するため、国有林全てを水源かん養保安林に指定し、保安林機能の発揮に努めます。また、治山施設の計画的な配置に努めます。

【保全施設及び保安林の整備計画】

区分	工種	新計画	国有林（市町村）
保全施設	溪間工	4箇所	足河内（下関市）
保全施設	山腹工	1箇所	足河内（下関市）
保安林の整備	本数調整伐	29.51ha	足河内（下関市）

【本数調整伐実行箇所】



足河内国有林（下関市）

【本数調整伐計画箇所】



足河内国有林（下関市）

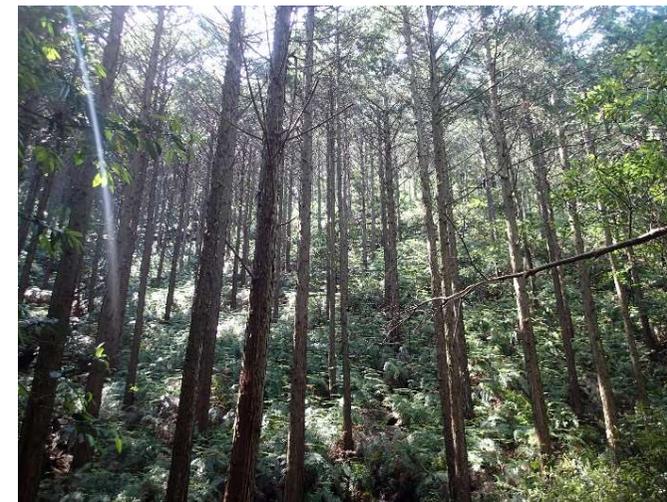
新計画における主要事業量

区分		新計画	現計画	増減事由
伐採総量	主伐	(5ha) 1,649m ³	(4ha) 956m ³	主伐対象林分の増加に伴い、計画量が増加しています。
	間伐	(42ha) 5,369m ³	(41ha) 4,105m ³	間伐対象林分の増加に伴い、計画量が増加しています。
更新総量	人工造林	4.37ha	3.67ha	主伐量の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	天然更新	—	—	—
保育総量	下刈	13.11ha	11.01ha	造林面積の増加に伴い、計画面積が増加しています。
	除伐	—	—	—
林道事業	開設	—	—	—
	改良	—	—	—
治山事業	保全施設	5箇所	—	荒廃地復旧箇所の増加に伴い、計画量が増加しています。
	保安林の整備	29.51ha	—	整備対象森林の増加に伴い、計画面積が増加しています。

(注) 赤字：現計画より計画量が増加

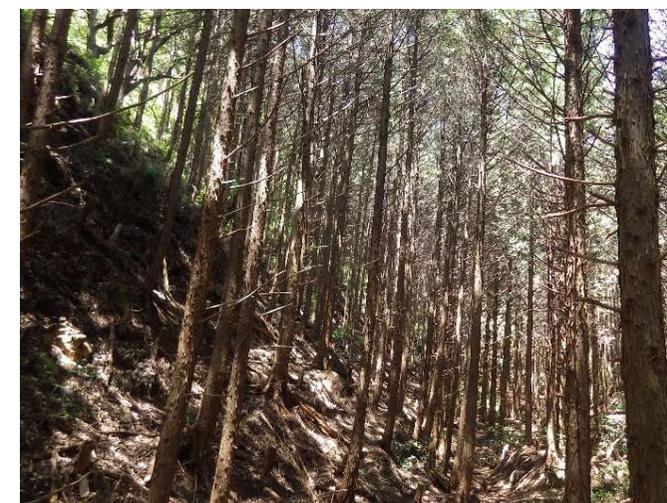
青字：現計画より計画量が減少

主伐計画箇所



足河内国有林（下関市）

間伐計画箇所



足河内国有林（下関市）